

(様式第 10)

熊大病医事第 201 号  
平成 28 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人熊本大学長  
原田 信志

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 8 6 0 - 8 5 5 5 熊本市中央区黒髪 2 丁目 3 9 番 1 号
氏 名	国立大学法人熊本大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

熊本大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒 8 6 0 - 8 5 5 6 熊本市中央区本荘 1 丁目 1 番 1 号	電話(096)342-2111
--	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	①	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1血液内科 2リウマチ科 3腎臓内科 4代謝内科 5呼吸器内科 6消化器内科 7神経内科		
8循環器内科 9 10 11 12 13 14		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科							有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名							
1 消化器外科	2 乳腺外科	3 呼吸器外科	4 心臓血管外科	5 小児外科	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
診療実績							

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科	8産科
9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	⑭放射線治療科		
⑮麻酔科	⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科							有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名							
1 歯科口腔外科	2	3	4	5	6	7	
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	床	床	床	798床	848床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	384人	298人	576.9人	看護補助者	41人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	20人	24人	35.6人	理学療法士	17人	臨床検査技師	67人
薬剤師	69人	0人	69人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	30人	2人	31.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	809人	45人	840.2人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	1人	事務職員	240人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	43人	その他の職員	42人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年9月1日現在)

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	29人	眼科専門医	12人
外科専門医	51人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	24人
小児科専門医	29人	脳神経外科専門医	17人
皮膚科専門医	9人	整形外科専門医	20人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	15人
産婦人科専門医	21人	救急科専門医	5人
		合計	267人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 水田 博志 ) 任命年月日 平成27年4月1日

平成23年4月1日～平成27年3月31日 副病院長 (医療安全管理及び危機管理に関する事項担当)  
医療安全管理部長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	661.41人	21.97人	683.38人
1日当たり平均外来患者数	1,362.21人	86.69人	1,448.9人
1日当たり平均調剤数			783.17 剤
必要医師数			150.79人
必要歯科医師数			7.08人
必要薬剤師数			23人
必要(准)看護師数			393人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	883 m <sup>2</sup>	SR	病床数	30床	心電計	○・無
			人工呼吸装置	○・無	心細動除去装置	○・無
			その他の救急蘇生装置	○・無	ペースメーカー	○・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 144.42 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 22台		病床数	16床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 53m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	591m <sup>2</sup>	SR	(主な設備)	汎用自動分析装置、電解質測定装置、HbA1c分析装置		
細菌検査室	137m <sup>2</sup>	SR	(主な設備)	自動塗布装置、薬剤感受性装置、自動染色装置		
病理検査室	397m <sup>2</sup>	SR	(主な設備)	自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結切片作成装置		
病理解剖室	187m <sup>2</sup>	SR	(主な設備)	病理解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ		
研究室	1,428m <sup>2</sup>	SR	(主な設備)	クリオスタット、遠心機、オートクレーブ		
講義室	1,126m <sup>2</sup>	SR	室数	5室	収容定員	828人
図書室	2,543m <sup>2</sup>	SR	室数	3室	蔵書数	180,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	90.3%	逆紹介率	92.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,491人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,595人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		725人
	D: 初診の患者の数		16,856人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
			計画書の提出あり	有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	計画書の提出あり

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	0人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	1人
単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	7人
前眼部三次元画像解析	0人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	4人
多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療	1人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価 C型慢性肝炎(インターフェロン・リバビリン併用療法による効果が見込まれるものに限る。)	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	2人
インターフェロン $\alpha$ 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。  
 (注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	116
2	筋萎縮性側索硬化症	36	57	特発性拡張型心筋症	57
3	脊髄性筋萎縮症	24	58	肥大型心筋症	93
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	70
6	パーキンソン病	225	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	11
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	68
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	12	65	原発性免疫不全症候群	2
11	重症筋無力症	202	66	IgA 腎症	136
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性囊胞腎	25
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	128	68	黄色靱帯骨化症	11
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	63	69	後縦靱帯骨化症	35
15	封入体筋炎	15	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	8
17	多系統萎縮症	26	72	下垂体性ADH分泌異常症	3
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	87	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライソゾーム病	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	21
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	14
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	93	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	117
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	132
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	12	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	21
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	12	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	123
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	21
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	19
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	6
34	神経線維腫症	73	89	リンパ管筋腫症	8
35	天疱瘡	49	90	網膜色素変性症	23
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	8
38	ステイヴンス・ジョンソン症候群	9	93	原発性胆汁性肝硬変	100
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	7
40	高安動脈炎	29	95	自己免疫性肝炎	7
41	巨細胞性動脈炎	43	96	クローン病	70
42	結節性多発動脈炎	43	97	潰瘍性大腸炎	118
43	顕微鏡的多発血管炎	50	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	7	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	437	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	287	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	149	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	66	107	全身型若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	185	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	19	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	5	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	27
113	筋ジストロフィー	78	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	19	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	11	168	エーラス・ダンロス症候群	3
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	19
122	脳表ヘモジリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳炎	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	1
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウイリ症候群	19
144	レノックス・ガストー症候群	3	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	21	195	ヌーナン症候群	2
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	2
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	6	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	3	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	15	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	23	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	153	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	7	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	23	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	30
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	2	276	軟骨無形成症	15
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	15	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	6	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	1	292	総排泄腔外反症	3
245	プロピオン酸血症	2	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	8	294	先天性横隔膜ヘルニア	2
247	イソ吉草酸血症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	6
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ボルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
特定機能病院入院基本料1. 一般病棟 イ (7対1看護)	救急搬送患者地域連携紹介加算
特定機能病院入院基本料3. 精神病棟 ニ (15対1看護)	病棟薬剤業務実施加算
臨床研修病院入院診療加算	データ提出加算2
救急医療管理加算	特定集中治療室管理料2
超急性期脳卒中加算	特定集中治療室管理料3
妊産婦緊急搬送入院加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
診療録管理体制加算2	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上)	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
看護職員夜間配置加算	新生児治療回復室入院医療管理料
看護補助加算1(30対1)(精神病棟)	小児入院医療管理料2
療養環境加算	小児入院医療管理料2に係る加算(プレイルーム加算)
重症者等療養環境特別加算	
無菌治療室管理加算1	
無菌治療室管理加算2	
緩和ケア診療加算	
精神科身体合併症管理加算	
がん診療連携拠点病院加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
感染防止対策地域連携加算	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
退院調整加算	
新生児特定集中治療室退院調整加算1及び2	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	検体検査管理加算(I)
高度難聴指導管理料(イ)(ロ)	検体検査管理加算(IV)
糖尿病合併症管理料	遺伝カウンセリング加算
がん性疼痛緩和指導管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん患者指導管理料1	植込型心電図検査
がん患者指導管理料2	時間内歩行試験
がん患者指導管理料3	胎児心エコー法
外来緩和ケア管理料	ヘッドアップティルト試験
移植後患者指導管理料1(臓器移植後患者指導管理料)	人工臓腑
糖尿病透析予防指導管理料	皮下連続式グルコース測定
外来リハビリテーション診療料	長期継続頭蓋内脳波検査
外来放射線照射診療料	神経学的検査
ニコチン依存症管理料	補聴器適合検査
地域連携診療計画管理料(脳卒中)	ロービジョン検査判断料
がん治療連携計画策定料	内服・点滴誘発試験
がん治療連携管理料	センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
認知症専門診断管理料	画像診断管理加算1
肝炎インターフェロン治療計画料	画像診断管理加算2
薬剤管理指導料	遠隔画像診断
医療機器安全管理料1	ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
医療機器安全管理料2	CT撮影及びMRI撮影
医療機器安全管理料(歯科)	冠動脈CT撮影加算
持続血糖測定器加算	大腸CT撮影加算
造血器腫瘍遺伝子検査	心臓MRI撮影加算
HPV核酸検出	抗悪性腫瘍剤処方管理加算

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来化学療法加算1	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
無菌製剤処理料	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算	網膜再建術
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	人工内耳植込術 植込型骨導補聴器移植術・交換術
脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
運動器リハビリテーション料(I)	乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
運動器リハビリテーション料の初期加算	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
呼吸器リハビリテーション料(I)	経皮的冠動脈形成術
呼吸器リハビリテーション料の初期加算	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
がん患者リハビリテーション料	経皮的冠動脈ステント留置術
認知症患者リハビリテーション料	経皮的冠動脈弁置換術
集団コミュニケーション療法料	経皮的中隔心筋焼灼術
歯科口腔リハビリテーション料2	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
認知療法・認知行動療法1	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
認知療法・認知行動療法2	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
精神科作業療法	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
医療保護入院等診療料	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	経皮的冠動脈遮断術
透析液水質確保加算2	ダメージコントロール手術
一酸化窒素吸入療法	胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術)	腹腔鏡下肝切除術
組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る。)	生体部分肝移植術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	同種死体肝移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	直線加速器による定位放射線治療
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	保険医療機関間の連携による病理診断
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
同種死体腎移植術	テレパソロジーによる術中迅速細胞診
生体腎移植術	病理診断管理加算2
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	地域歯科診療支援病院歯科初診料
人工尿道括約筋植込・置換術	歯科外来診療環境体制加算 再診時歯科外来診療環境体制加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	歯科診療特別対応連携加算
医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術	歯科治療総合医療管理料
輸血管管理料Ⅱ	クラウン・ブリッジ維持管理料
貯血式自己血輸血管管理体制加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	CAD/CAM冠
内視鏡手術用支援機器加算	入院時食事療養費(1)
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
手術時歯根面レーザー応用加算	
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
麻酔管理料(Ⅰ)	
麻酔管理料(Ⅱ)	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
1回線量増加加算	
高エネルギー放射線治療	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染迅速診断(リアルタイムPCR法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22回
剖検の状況	剖検症例数 17例 / 剖検率 7.1%



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	2光子励起レーザー顕微鏡を用いた新たな肝移植後拒絶反応の時空間的メカニズム解析	武市 卒之	医学部附属病院	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
2	AKIからの腎組織修復に慢性炎症が果たす役割の解明	早田 学	医学部附属病院	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
3	Apop遺伝子制御によるメタボリックシンドローム抑制療法の創出	安田 修	医学部附属病院	1,200,465	補委 独立行政法人日本学術振興会
4	AutophagyによるARDS制御機構解明とmicroRNAによる治療法開発	田代 貴大	医学部附属病院	2,944,145	補委 独立行政法人日本学術振興会
5	cPLA2発現抑制による動脈硬化進展抑制効果と新規動脈硬化症治療法開発の試み	松村 剛	医学部附属病院	1,402,824	補委 独立行政法人日本学術振興会
6	FXR agonistを用いた肝切除後肝再生促進療法の臨床応用を見据えた基礎研究	高森 啓史	医学部附属病院	1,409,747	補委 独立行政法人日本学術振興会
7	HIV感染におけるケモカイン受容体の挙動及び受容体阻害剤に関する研究	中田 浩智	医学部附属病院	1,511,746	補委 独立行政法人日本学術振興会
8	microRNAを介した胃癌における抗HER2抗体耐性機序の解明	林 尚子	医学部附属病院	1,396,367	補委 独立行政法人日本学術振興会
9	Sirt7による脂質ラフト制御機構の解明	荒木 智	医学部附属病院	1,555,729	補委 独立行政法人日本学術振興会
10	Smad3抑制による癒痕声帯の治療法開発	増田 聖子	医学部附属病院	2,377,808	補委 独立行政法人日本学術振興会
11	TN乳癌におけるエクソソームmiRNA発現解析、特に治療効果予測miRNAの検討	末田 愛子	医学部附属病院	2,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
12	TTRの断片化を活用したFAP病態解明へのプレイクスルーと新規疾患モデル構築	植田 光晴	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
13	アセタゾラミドおよびカナグリフロジンによる糖尿病性腎症発症抑制効果の検討	中山 裕史	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
14	アポトーシス関連因子IAPによる抗がん剤耐性機構の解明と新規治療法の開発	永田 将士	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
15	アミロイドーシス根治を目指した従来にないマルチターゲット型新規治療薬の創製	城野 博史	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
16	アンジオポエチン様因子-2が皮膚の加齢性変化および加齢性皮膚がんに与える影響の検討	青井 淳	医学部附属病院	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
17	オートファジー抑制による新たな膝痛治療法の開発	橋本 大輔	医学部附属病院	1,348,400	補委 独立行政法人日本学術振興会
18	グリオーマ幹細胞を標的とした間葉系幹細胞による新規治療法の開発	篠島 直樹	医学部附属病院	646,465	補委 独立行政法人日本学術振興会
19	ストレス惹起インスリン抵抗性に伴う血管内皮障害への硫化水素による治療戦略	杉田 道子	医学部附属病院	2,640,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
20	セリンプロテアーゼ・ヘパシンの腎臓における生理的機能の分子解明	安達 政隆	医学部附属病院	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
21	ヒストン脱メチル化酵素を制御するmicroRNAを標的とした新規治療法の開発	坂本 快郎	医学部附属病院	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
22	ヒト糖尿病1a型iPS細胞における遺伝子修復法の確立と新規の病態解析	城戸 淳	医学部附属病院	1,117,739	補委 独立行政法人日本学術振興会
23	マウスラセン神経節細胞におけるTis21の細胞保護作用	伊勢 桃子	医学部附属病院	1,397,178	補委 独立行政法人日本学術振興会
24	マクロファージにおけるp27kip発現調機序の解明と動脈硬化症発症における意義	石井 規夫	医学部附属病院	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
25	メタボリックシンドロームによる腎障害におけるプロテアーゼの機能解明と治療応用	水本 輝彦	医学部附属病院	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
26	モデルマウスを用いた胃癌腹膜播種規定因子の解明と治療標的分子の探索	蔵重 淳二	医学部附属病院	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
27	悪性黒色腫に対するiPS細胞由来ミエロイドラインによる新規免疫療法の開発	福島 聡	医学部附属病院	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
28	悪性脳腫瘍におけるハイパーメタボリズムを標的にした新たな診断、治療戦略の考案	牧野 敬史	医学部附属病院	843,089	補委 独立行政法人日本学術振興会
29	遺伝子改変ヒトiPS細胞由来ミエロイドラインを用いた進行期悪性黒色腫の免疫療法	宮下 梓	医学部附属病院	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
30	遺伝性脳血管障害に対する新規治療ターゲットの同定と根治的治療の開発	植田 明彦	医学部附属病院	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
31	医学生の参加型臨床実習と手術成績に関する地域共同のプロスペクティブ研究	石河 隆敏	医学部附属病院	941,141	補委 独立行政法人日本学術振興会

32	一過性局所神経脱落徴候から迫る新たな脳アミロイド・アンギオパチーの病態と診断法	中島 誠	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
33	一側喉頭麻痺に対する神経筋弁移植術後の声域と声帯振動の検討	兒玉 成博	医学部附属病院	1,111,519	補委	独立行政法人日本学術振興会
34	円滑な診療諸記録入力に関連文書の作成支援機能を実現するシステムの開発	宇宿 功市郎	医学部附属病院	810,340	補委	独立行政法人日本学術振興会
35	化学療法後の肝臓閉塞症候群の分子機構解明と抗VEGF抗体療法の有効性の解析	黒木 秀幸	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
36	加齢黄斑変性症における上皮間葉転換のレドックス制御を標的とした創薬への基盤研究	猪俣 泰也	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
37	冠動脈サブトラクションCTAの撮像法の最適化および狭窄率・ブランク評価の検討	木藤 雅文	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
38	肝血流低下による肝萎縮機構の解明とLSKLpeptideを用いた新規治療法の開発	生田 義明	医学部附属病院	1,692,410	補委	独立行政法人日本学術振興会
39	肝細胞癌進展におけるTGFβ-Hippoシグナルのクロストークに関する研究	藏元 一崇	医学部附属病院	1,489,282	補委	独立行政法人日本学術振興会
40	肝細胞癌進展におけるポリコム蛋白を介したマイクロRNAの作用機序解明	増田 稔郎	医学部附属病院	1,885,411	補委	独立行政法人日本学術振興会
41	肝定位放射線治療における機能的線量体積ヒストグラムと肝機能障害予測システムの開発	東家 亮	医学部附属病院	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
42	肝内胆管癌におけるCDH3の発現とRho familyとの関連	堀野 敬	医学部附属病院	1,585,756	補委	独立行政法人日本学術振興会
43	肝内胆管癌におけるTGF-β活性化機構に着目した癌進展機構の解明	林 洋光	医学部附属病院	1,864,340	補委	独立行政法人日本学術振興会
44	癌幹細胞に着目した口腔癌の新たな治療戦略-SALL4の治療への応用	太田 和俊	医学部附属病院	902,887	補委	独立行政法人日本学術振興会
45	癌関連線維芽細胞(CAF)を標的とした胆道癌の新規治療法の開発	今井 克憲	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
46	癌細胞におけるC5aRの発現と機能解析と新しい治療法の開発	新田 英利	医学部附属病院	1,614,171	補委	独立行政法人日本学術振興会
47	癌治療の個別化への道を切り開く予後規定因子CYLD発現消失の分子機能動態の解明	城野 博史	医学部附属病院	5,249,600	補委	独立行政法人日本学術振興会
48	癌微小周囲環境における補体を介した間質細胞の増殖・転移促進効果に関する研究	中原 修	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
49	機械的ストレスの軟骨変性誘導における小胞体ストレスの発生と病態生理に関する研究	廣瀬 隼	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
50	近位側大腸の鋸歯状腺腫(SSAP)に対する分子生物学的解析	庄野 孝	医学部附属病院	925,188	補委	独立行政法人日本学術振興会
51	限局性皮膚形成異常を標識する術中分子イメージング法の開発	浜崎 禎	医学部附属病院	1,912,118	補委	独立行政法人日本学術振興会
52	口腔癌の抗癌剤および放射線耐性に関与するエピゲノム異常の解明と個別化治療への応用	廣末 晃之	医学部附属病院	1,507,194	補委	独立行政法人日本学術振興会
53	口腔扁平上皮癌におけるmiRNAによる抗癌剤耐性機構の解明と個別化治療への応用	川原 健太	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
54	口腔扁平上皮癌における遠隔転移マーカーの同定及び解析	田中 拓也	医学部附属病院	1,409,976	補委	独立行政法人日本学術振興会
55	口腔扁平上皮癌における細胞外基質を介した抗癌剤耐性機構解明と新規治療法の開発	中川 純泰	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
56	高解像度内圧計を用いた嚥下リハビリテーション手技に関する基礎的・臨床的研究	蛟島 靖浩	医学部附属病院	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
57	子どもの慢性疲労と不注意の脳内機序解明と治療法開発研究	上土井 貴子	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
58	脂肪組織におけるTNF受容体切断酵素の同定とインスリン抵抗性改善への応用	本島 寛之	医学部附属病院	804,732	補委	独立行政法人日本学術振興会
59	時系列カラー表示ASL-MRAの基礎的・臨床的研究	西村 振一郎	医学部附属病院	1,048,450	補委	独立行政法人日本学術振興会
60	次世代シーケンサーを利用した膠芽腫の治療抵抗性と再発に関連する遺伝子変異の探索	秀 拓一郎	医学部附属病院	1,549,742	補委	独立行政法人日本学術振興会
61	自己組織化を利用したオンチップ血管モデルの開発—血管生理・病態の再現と理解	西山 功一	医学部附属病院	1,101,548	補委	独立行政法人日本学術振興会
62	自己免疫性自律神経節障害における自己抗体測定系の確立と臨床像解析	中根 俊成	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
63	腫瘍特異的CTLとヘルパーT細胞を活性化するがんペプチドワクチンの開発	湯野 晃	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
64	循環器疾患における新規血栓形成能測定システムを用いた至適抗血栓療法法の確立	海北 幸一	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
65	小径線維ニューロパチーにおける革新的な評価法の確立と新たな診断マーカーの探索	増田 曜章	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

66	小胞体ストレスは運動ニューロン変性において本質的であるか？	森 麗	医学部附属病院	1,541,727	補委	独立行政法人日本学術振興会
67	消化器癌におけるエピゲノム関連酵素TETファミリーおよび5-hmCの解析	宮成 信友	医学部附属病院	1,890,307	補委	独立行政法人日本学術振興会
68	消化器癌の発育進展に関与する脂質代謝メカニズムの解明と新規治療法の開発	石川 晋之	医学部附属病院	1,226,984	補委	独立行政法人日本学術振興会
69	食道癌におけるWarburg effect関連遺伝子と抗薬剤耐性に関する検討	澤山 浩	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
70	食道癌におけるプロモーター領域のメチル化とmicroRNA発現の網羅的解析	齋藤 誠哉	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
71	食道癌の治療選択に関わるPI3K/AKTpathway関連遺伝子変異の網羅的検索	志垣 博信	医学部附属病院	1,641,963	補委	独立行政法人日本学術振興会
72	食道扁平上皮癌におけるmTOR発現とヘッジホッグシグナル経路の相互作用の解明	平島 浩太郎	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
73	心血管疾患におけるHb $\alpha$ およびCYB5R3の役割	菅村 公一	医学部附属病院	2,026,993	補委	独立行政法人日本学術振興会
74	心停止後症候群の新たな予後予測バイオマーカーの確立	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,152,288	補委	独立行政法人日本学術振興会
75	新たな内分泌学的因子を包含した子宮内膜癌の分類と治療戦略の確立	齋藤 文誉	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
76	新規マイオカインの探索を介したサルコペニア合併CKD患者への至適運動療法の確立	花谷 信介	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
77	新規口腔癌ペプチドワクチン療法の開発と臨床効果判定バイオマーカーの同定	吉武 義泰	医学部附属病院	701,657	補委	独立行政法人日本学術振興会
78	新規毛周期調節因子Tsukushiによる毛髪再生メカニズムの解明	新森 大佑	医学部附属病院	1,032,985	補委	独立行政法人日本学術振興会
79	新生児虚血脳に対するbFGFおよびEGFによる神経再生治療	岩井 正憲	医学部附属病院	1,819,528	補委	独立行政法人日本学術振興会
80	腎集合尿管間細胞における酸塩基平衡関連遺伝子発現の調節機序の解明	泉 裕一郎	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
81	正常胃粘膜上皮および胃癌におけるSPINK1の機能解析	尾崎 宣之	医学部附属病院	1,631,297	補委	独立行政法人日本学術振興会
82	先進的MRIパラメーターによる脳腫瘍の定量的性状解析と手術支援	北島 美香	医学部附属病院	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
83	先天性無痛無汗症の中樞神経病態と神経成長因子依存性ニューロンの生理学的機能	犬童 康弘	医学部附属病院	1,330,406	補委	独立行政法人日本学術振興会
84	胎生期内耳における遺伝子発現調節による遺伝子動態の解析	三輪 徹	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
85	大腸癌の浸潤・転移におけるCdh1の役割の解明	直江 秀昭	医学部附属病院	1,196,422	補委	独立行政法人日本学術振興会
86	大動脈瘤発生のメカニズム解明による新規大動脈瘤破裂予測因子の探索	田爪 宏和	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
87	胆管癌におけるエピジェネティクスを標的とした新規分子標的治療薬の検討	近本 亮	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
88	低血糖による合併症増悪機序におけるmtROSとWarburg effectの関与	久木留 大介	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
89	低被ばく心臓CTにおけるモデル型逐次近似再構成法によるプラーク性状評価の検討	幸 秀明	医学部附属病院	805,894	補委	独立行政法人日本学術振興会
90	転移乳癌に対するエストロゲン付加療法のメカニズム解析	村上 敬一	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
91	電気刺激により悪性グリオーマの増殖を制御する	山田 和慶	医学部附属病院	2,871,416	補委	独立行政法人日本学術振興会
92	糖尿病眼合併症におけるANGPTL2の機能に関する研究	伊藤 康裕	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
93	糖尿病予測およびiPS細胞移植基盤の確立	松本 志郎	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
94	頭頸部扁平上皮癌における細胞接着阻害分子ポドカリキンの発現、および機能の解析	村上 大造	医学部附属病院	849,954	補委	独立行政法人日本学術振興会
95	内臓脂肪が大腸癌の進展に与える影響とそのメカニズムの解析	宮本 裕士	医学部附属病院	1,570,944	補委	独立行政法人日本学術振興会
96	南九州における地域在住高齢者の抑うつに関する縦断的介入研究	藤瀬 昇	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
97	乳癌ホルモン療法の効果予測を目的としたツールの開発	指宿 睦子	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
98	尿毒症物質産生阻害薬探索のためのヒト人工多能性幹(iPS)細胞由来肝細胞の構築	齋藤 秀之	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
99	認知症患者におけるhypersexualityのメカニズムに関する研究	矢田部 祐介	医学部附属病院	1,135,399	補委	独立行政法人日本学術振興会

100	脳悪性神経膠腫の放射線治療期間中の腫瘍変位および適応放射線治療の導入に関する研究	松山 知彦	医学部附属病院	1,423,652	補委	独立行政法人日本学術振興会
101	敗血症環境におけるNecroptosisを中心としたHMGB1の主導的役割の解明	岩下 晋輔	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
102	発生学的考察に基づいた、低出生体重児の循環器リスクを明らかにする基盤技術の創出	有馬 勇一郎	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
103	病因抗原が未知の自己免疫疾患に対する組織抗原特異的免疫抑制療法の開発	平田 真哉	医学部附属病院	1,114,346	補委	独立行政法人日本学術振興会
104	封入体筋炎をモデルとした異常蛋白凝集体病の病態解明	俵 明恵	医学部附属病院	1,488,351	補委	独立行政法人日本学術振興会
105	腹腔内環境をターゲットとした子宮内膜症の内分泌療法を脱却した新規治療薬の開発	伊藤 史子	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
106	泡沫硬化剤を用いた経皮経肝的門脈塞栓術の臨床的有用性、安全性に関する検討	中曽根 豊	医学部附属病院	553,736	補委	独立行政法人日本学術振興会
107	房水流出路の4次元イメージングと緑内障病態における動的変化に関する研究	井上 俊洋	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
108	膜透過性ペプチドを用いた悪性神経膠腫腫瘍幹細胞に対する治療の実現化の研究	中村 英夫	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
109	卵巣明細胞腫瘍における静脈血栓塞栓症の発症メカニズムの解明と治療戦略	坂口 勲	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
110	硫酸抱合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	5,539,584	補委	独立行政法人日本学術振興会
111	綿牛の発生・分化を司る遺伝子システムにおけるTis21遺伝子の役割解明	草場 雄基	医学部附属病院	2,267,536	補委	独立行政法人日本学術振興会
112	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	菅村 公一	医学部附属病院	24,924	補委	公益財団法人循環器病研究振興財団
113	平成27年度治験推進研究事業 治験の実施に関する研究(A型ボツリヌス毒素)(課題番号:CCT-C-2608)	讃岐 徹治	医学部附属病院	424,000	補委	公益社団法人日本医師会
114	平成27年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が救急搬送に及ぼす影響の疫学研究))	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,709,121	補委	国立研究開発法人国立環境研究所
115	平成27年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((5)粒子成分、黄砂の急性心筋梗塞・心肺停止発症に対する影響と高感受性集団に関する研究)	小島 淳	医学部附属病院	3,947,929	補委	国立研究開発法人国立環境研究所
116	内転型癒着性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲狀軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	69,203,710	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
117	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	2,000,000	補委	出水市病院事業
118	本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究(分担課題名:心機能データ解析)	山室 恵	医学部附属病院	250,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
119	血管網の自己組織化機構の解明	西山 功一	医学部附属病院	17,780,579	補委	国立研究開発法人科学技術振興機構
120	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリパーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study: Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patients with stable coronary artery disease Study)	海北 幸一	医学部附属病院	872,319	補委	公益財団法人循環器病研究振興財団
121	硫酸抱合型尿毒症物質産生阻害薬の探索-創薬標的蛋白のバリデーションおよびスクリーニング系の基礎的検討	齋藤 秀之	医学部附属病院	9,927,455	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
122	遅発型ボンベ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	小篠 史郎	医学部附属病院	83,078	補委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
123	新しい遺伝子改変動物モデルを用いた循環器疾患の病態研究(分担課題名:心筋微小循環系のオンデブ上再現と応用展開)	西山 功一	医学部附属病院	1,500,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
124	放射線治療による血液毒性を予測する治療計画パラメーターの同定	齋藤 哲雄	医学部附属病院	1,000,000	補委	出水市病院事業
125	FAPの次世代型複合的免疫療法によるアミロイド掃討作戦	安東 由喜雄	生命科学研究部	6,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
126	ヒト遺伝性難聴に対する根本治療確立を目指した基礎研究	養田 涼生	生命科学研究部	9,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
127	微小環境がもたらす肝臓の治療抵抗性の獲得機構-融合プロテオミクスを用いた解析-	佐々木 裕	生命科学研究部	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
128	骨格筋由来分泌因子を用いた新規心不全治療法の開発とその臨床応用研究	小川 久雄	生命科学研究部	4,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
129	上皮性卵巣癌における癌幹細胞とニッチを標的とした新規治療戦略	片瀨 秀隆	生命科学研究部	4,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
130	一側喉頭麻痺の病態に関する基礎的臨床的研究	湯本 英二	生命科学研究部	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
131	ダルナビル等に対するHIV高度耐性の分子力学的解析と新規プロテアーゼ阻害剤開発	満屋 裕明	生命科学研究部	3,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

132	消化器癌幹細胞の特性を制御するmicroRNAの同定と治療への応用	馬場 秀夫	生命科学研究所	3,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
133	膀胱癌に対するキラーおよびヘルパーT細胞をともに活性化するがん免疫療法の開発	江藤 正俊	生命科学研究所	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
134	生理活性物質の動的均衡制御とリアルタイムイメージング技術開発による緑内障治療研究	谷原 秀信	生命科学研究所	3,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
135	食道癌の新規バイオマーカー開発を目指したがん代謝のエピゲノム解析	馬場 祥史	生命科学研究所	5,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
136	造血幹細胞の機能維持を司るリボソーム生合成経路の検証	松井 啓隆	生命科学研究所	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
137	心臓4次元CTを導入した心拍動下冠動脈バイパス術前ナビゲーションシステムの開発	宇都宮 大輔	生命科学研究所	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
138	人工膵島への応用を見据えた血管内留置型センサによる連続血糖計測システムの開発	下田 誠也	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
139	血管内皮細胞障害におけるミトコンドリア機能の役割検討と臨床評価、新治療の探索	杉山 正悟	生命科学研究所	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
140	p27によるマクロファージ増殖制御の糖尿病・動脈硬化における生理学的意義の解明	瀬ノ口 隆文	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
141	出血傾向を有した産科危機的出血に対する永久塞栓物質を用いた子宮動脈塞栓術の検討	池田 理	生命科学研究所	950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
142	本邦における分割肝移植医療の基盤整備に関する研究	阪本 靖介	生命科学研究所	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
143	microRNA-gene pathwayを介した胃癌トラスツマブ耐性機序の解明	岩槻 政晃	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
144	食道扁平上皮癌に対する第3世代PPAR $\gamma$ agonistの抗腫瘍効果・機序の解明	吉田 直矢	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
145	脳動脈瘤の発生、破裂に関する慢性炎症の関与とその薬物療法開発に関する基礎研究	河野 隆幸	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
146	マイクロRNA解析と髄膜腫幹細胞の機能制御に基づく悪性髄膜腫の新規治療法の開発	矢野 茂敏	生命科学研究所	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
147	悪性脳腫瘍に対するDDS製剤を用いた個別化治療に向けての基礎的検討	黒田 順一郎	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
148	胆道閉鎖症の病因・病態におけるSox9遺伝子の関与に関する検討	猪股 裕紀洋	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
149	唾液腺幹細胞を用いた機能障害唾液腺修復モデルの確立と臨床への応用	平木 昭光	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
150	免疫栄養(エイコサペンタエン酸)を用いた口腔癌転移抑制の実験動物における研究	尾木 秀直	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
151	上位中枢におけるプレガバリン・ガバペンチンによる鎮痛発現機序	山本 達郎	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
152	再灌流障害における責任冠動脈粥腫性状および微小循環障害の関与と至適治療戦略の開発	辻田 賢一	生命科学研究所	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
153	骨格筋由来ホルモンによる心腎連関の新たな治療介入	泉家 康宏	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
154	生活習慣病関連腎症の発症・進展における臓器・細胞連関と内分泌因子の意義	向山 政志	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
155	Pax8-rTA/LC-1システムを用いた腎尿細管近位側プロスタシンの機能解明	柿添 豊	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
156	グルカゴンとmtPKAを介した活性酸素発現機序の解明と糖尿病合併症治療への応用	西川 武志	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
157	APP修飾認知症モデル動物における脳内インスリン作用と認知機能障害機序の解析	河島 淳司	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
158	多発性骨髄腫及びホジキンリンパ腫のPU.1発現誘導を利用した治療応用の基礎研究	奥野 豊	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
159	認知症におけるアプシーの神経基盤に関する研究	池田 学	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
160	心臓専用半導体SPECT装置を用いた心筋血流量及び冠血管予備能の定量化と臨床応用	白石 慎哉	生命科学研究所	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
161	2光子励起顕微鏡を用いた小腸虚血再灌流障害時における好中球動態の解析	本田 正樹	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
162	好中球のCXCR1/2の細胞内輸送分子を用いた新たなSIRSの診断・治療法の開発	蒲原 英伸	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
163	多発肺腺癌とエストロゲン代謝関連遺伝子多型、肺組織中エストロゲン濃度の関連	白石 健治	生命科学研究所	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
164	メカニカルストレスに対する軟骨細胞の小胞体ストレス応答の解明	水田 博志	生命科学研究所	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
165	網膜再生にかかわる傷害組織再構築を制御する細胞間相互作用に関する研究	福島 美紀子	生命科学研究所	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
166	データマイニング手法を用いた呼吸器・集中治療医学に関する知識の探索	廣佐古 進	生命科学研究所	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

167	慢性腎臓病における創薬ターゲットとしての内因性リガンドMRP8の役割の検討	栗原 孝成	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
168	熟応答性ストレス反応経路活性化を介した抗炎症・抗糖尿病効果の分子機構解明	近藤 龍也	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
169	ヒト造血細胞でのゲノム編集技術基盤の確立と血液腫瘍病態解析への応用	松井 啓隆	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
170	HIV-1 Capsid蛋白の自己崩壊を誘導する、新規Capsid阻害剤の開発	天野 将之	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
171	全身性強皮症を含む皮膚線維化疾患におけるlong non-coding RNA	神人 正寿	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
172	去勢抵抗性前立腺癌におけるWnt signalの生物学的意義	河野 吉昭	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
173	間葉性異形成胎盤の診断・管理指針作成に関する研究	大場 隆	生命科学研究所	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
174	瘢痕声帯における筋線維芽細胞の解析とその活性調節による声帯瘢痕化抑制	熊井 良彦	生命科学研究所	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
175	房水生理活性物質の相互作用による緑内障発症機序の解明	井上 みゆき	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
176	口腔癌の薬剤耐性関連エクソソームmicroRNAの同定と診断・治療への応用	中山 秀樹	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
177	肝炎・肝癌誘導因子LTβの発現を制御する高次エピゲノム構造の解析とその臨床応用	渡邊 丈久	生命科学研究所	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
178	全身性強皮症における免疫抑制療法の作用機序の検討	牧野 貴充	生命科学研究所	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
179	認知症患者を支える家族の介護負担感が患者に及ぼす影響に関する縦断的研究	小山 明日香	生命科学研究所	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
180	細胞外マトリックスリモデリングを利用したトランスサイレチンアミロイドの分解・除去	三隅 洋平	生命科学研究所	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
181	iPSマクロファージを利用したアミロイドポリニューロパチーのアミロイド除去療法	高松 孝太郎	生命科学研究所	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
182	高精度3次元自動計測ソフトウェアを用いたCT TAVI-Planningの開発	尾田 済太郎	生命科学研究所	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
183	網膜色素上皮細胞における上皮間葉転換と生物学的意義	高橋 枝里	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
184	静止期癌細胞モデルの確立によるtumor dormancyの包括的理解と制御	神力 悟	生命科学研究所	1,482,396	補委	独立行政法人日本学術振興会
185	口腔扁平上皮癌幹細胞と関連するマイクロRNAの機能解析と新規治療法の開発	吉田 遼司	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
186	疾患マーカーとしての毛根・毛髪中microRNAの検討	伊方 敏勝	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
187	早産ならびに胎児炎症反応症候群の予防を目的とした胎盤絨毛マクロファージの解析	山口 宗影	生命科学研究所	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
188	EpCAM陽性の高幹細胞を標的とした分子標的薬による難治性卵巣癌の新たな治療戦略	本原 剛志	生命科学研究所	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
189	腎細胞癌に対するimmune checkpoint阻害薬を用いた新規治療法の開発	江藤 正俊	生命科学研究所	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
190	反回神経の再生における標的特異性と過誤神経支配に関する基礎的研究	湯本 英二	生命科学研究所	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
191	経子宮的マウス内耳へのアプローチ法の確立	養田 涼生	生命科学研究所	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
192	炎症カスケード解析からこじ開けるアミロイドニューロパチーの病態制御	安東 由喜雄	生命科学研究所	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
193	短鎖脂肪酸受容体の脂肪細胞遺伝子プログラム改変作用を応用した肥満治療法開発	荒木 栄一	生命科学研究所	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
194	結晶・質量・熱力学解析による新規で強力なHIV-1プロテアーゼ阻害剤開発	満屋 裕明	生命科学研究所	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
195	4次元イメージングを用いた結膜瘢痕化におけるサイトカインの作用に関する研究	谷原 秀信	生命科学研究所	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
196	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	尹 浩信	生命科学研究所	9,152,000	補委	厚生労働省
197	アミロイドーシスに関する調査研究	安東 由喜雄	生命科学研究所	7,045,000	補委	厚生労働省
198	新しい先天代謝異常症スクリーニング時代に適応した治療ガイドラインの作成および生涯にわたる診療体制の確立に向けた調査研究	遠藤 文夫	生命科学研究所	6,184,000	補委	厚生労働省
199	2500人の糖尿病患者集団の10年予後からみた治療戦略に対する検討	小川 久雄	生命科学研究所	3,800,000	補委	厚生労働省
200	生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究	池田 学	生命科学研究所	4,984,000	補委	厚生労働省
201	多面的アプローチを用いた高次脳機能障害患者の復職支援プログラムの開発に関する研究	橋本 衛	生命科学研究所	9,240,000	補委	厚生労働省

202	「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	財団法人先端医療振興財団
203	Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	財団法人先端医療振興財団
204	治療切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	財団法人先端医療振興財団
205	進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブのランダム化第Ⅲ相試験(WJOG5108L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
206	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期・術後再発肺扁平上皮癌に対するネダプラチン+ドセタキセル併用療法とシスプラチン+ドセタキセル併用療法の無作為比較第Ⅲ相臨床試験(WJOG5208L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
207	Stage II / Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討(JFMC41-1001-C2)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	財団法人がん集学的治療研究財団
208	「切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのFOLFOXまたはFOLFIRI+panitumumab併用療法の有効性・安全性に関する検討-第Ⅱ相試験(研究略称:PaFF-J)」	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	財団法人先端医療振興財団
209	上皮成長因子受容体遺伝子変異(Exon 19 deletionまたはExon 21 point mutation)がない、または不明である非扁平上皮小細胞肺癌に対するカルボプラチン+ペトレキセド+ベバシズマブ併用療法施行後、維持療法として、ペトレキセド+ベバシズマブ併用療法をベバシズマブ単剤と比較する第Ⅲ相臨床試験(WJOG5610L)	興梠 博次	研究部(医)	984,462	補 ㊟	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
210	HER2陽性・65歳以上の進行再発胃癌に対するティーエスワン+トラスツマブ併用療法の第Ⅱ相試験	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
211	KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と周術期化学療法mFOLFOX6+セツキシマブの第Ⅲ相ランダム化比較試験(研究略称:EXPERT)	馬場 秀夫	研究部(医)	216,000	補 ㊟	公益財団法人先端医療振興財団
212	切除不能大腸癌1次治療におけるTS-1, irinotecan, bevacizumab併用療法の有用性を検証する臨床第Ⅲ相試験(TRICOLORE)	馬場 秀夫	研究部(医)	1,057,840	補 ㊟	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
213	(本体研究)Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3) (付随研究)Stage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験付随研究	馬場 秀夫	研究部(医)	64,800	補 ㊟	財団法人がん集学的治療研究財団
214	HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたベバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	山本 豊	研究部(医)	184,619	補 ㊟	一般社団法人JBCRG
215	ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に対する研究(研究略称:STAR ReGISTry)	馬場 秀夫	研究部(医)	108,000	補 ㊟	公益財団法人先端医療振興財団
216	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期肺扁平上皮癌に対するCBDCA+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為比較第Ⅲ相試験(WJOG7512L)	興梠 博次	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
217	降術前化学療法としてのGemcitabine+S-1療法(GS療法)の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験(Prep-02/JSAP-05)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット
218	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第Ⅱ相試験(SAMRAI-2 TRIAL)	馬場 秀夫	研究部(医)	623,080	補 ㊟	特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会
219	抗EGFR抗体薬パニツマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツマブ再投与の第Ⅱ相試験(JACCRO CC-09)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊟	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
220	Stage III 結腸癌に対する術後補助化学療法としてのS-1+Oxaliplatin(C-SOX)療法の効果・安全性確認試験(KSCC1303)	馬場 秀夫	研究部(医)	83,078	補 ㊟	一般社団法人九州臨床研究支援センター
221	Stage III 治療切除胃癌症例におけるTS-1術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究(JACCRO GC-07AR)	馬場 秀夫	研究部(医)	71,208	補 ㊟	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
222	切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対するmFOLFOX6 + bevacizumab(BV)療法、または、XELOX + BV療法の治療感受性・耐性因子に関するバイオマーカー研究(WJOG7612GTR)	馬場 秀夫	研究部(医)	166,154	補 ㊟	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
223	切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としてのXELIRI with/without Bevacizumab療法とFOLFIRI with/without Bevacizumab療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験(AXEPT試験)	馬場 秀夫	研究部(医)	153,845	補 ㊟	特定非営利活動法人疫学臨床試験研究支援機構(NPO法人 ECRIN)
224	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第Ⅰ期;2012年4月-2019年12月)(2014年契約)	片淵 秀隆	研究部(医)	99,231	補 ㊟	公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社
225	HER2 陽性進行・再発乳癌に対するトラスツマブ、ペルツマブ、エリブリン併用療法の有用性の検討試験(JBCRG-M03)	山本 豊	研究部(医)	0	補 ㊟	一般社団法人JBCRG
226	ホルモン陽性HER2陰性進行再発乳癌に対する、ホルモン療法による維持療法を利用したベバシズマブ+パクリタキセル療法の治療最適化研究(JBCRG-M04)	山本 豊	研究部(医)	0	補 ㊟	一般社団法人JBCRG
227	転移性前立腺癌に対するGnRH アンタゴニスト単剤療法とGnRH アゴニスト-CAB 療法のランダム化比較試験(KYUCOG-1401)	河野 吉昭	研究部(医)	0	補 ㊟	一般社団法人九州臨床研究支援センター
228	成人肝臓移植術後の消化管障害に対するTJ-100 ツムラ大建中湯(医療用)の有効性に関する検討 -多施設共同による二重盲検無作為比較臨床試験-	猪股 裕紀洋	研究部(医)	0	補 ㊟	国立大学法人京都大学

229	根治切除可能な進行直腸癌に対する術前化学療法としてのSOX療法とmFOLFOX6療法の有用性の検討-ランダム化第II相臨床試験-SCC1301)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊦	一般社団法人九州臨床研究支援センター
230	切除不能進行・再発大腸癌患者におけるレゴラフェニブによる疲労・倦怠感に対する経口ステロイド剤予防療法の検討-無作為化、プラセボ対照、二重盲検、第II相臨床試験(KSCC1402)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊦	一般社団法人九州臨床研究支援センター
231	静脈血栓塞栓症前向き追跡研究(AKAFUJI study)	辻田 賢一	研究部(医)	0	補 ㊦	国立大学法人三重大学医学部附属病院
232	切除不能KRAS野生型大腸癌に対する1次療法としてのセツキシマブ+IRIS療法に関する第I/II相臨床試験(KSCC1401)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊦	一般社団法人九州臨床研究支援センター
233	切除不能進行・再発大腸癌におけるRAS遺伝子変異型に対する一次治療FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法の第II相試験(JACCROCC-11)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊦	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
234	JFMC46-1201 再発危険因子を有するStage II大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ㊦	公益財団法人がん集学的治療研究財団
235	閉経後ER陽性進行再発乳癌におけるフルベストラントの至適投与方法の検討(JBCRG-C06)	山本 豊	研究部(医)	76,923	補 ㊦	一般社団法人JBCRG
236	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する長期疫学研究(第I期;2012年4月-2019年12月)(2015年契約)	片淵 秀隆	研究部(医)	0	補 ㊦	公益財団法人国際科学振興財団/クオールRD株式会社
237	熊本型早産予防対策事業(産科分野)調査研究	大場 隆	研究部(医)	6,550,000	補 ㊦	熊本県
238	強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究	尹 浩信	研究部(医)	24,988,462	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
239	日本人の頭頸部癌患者におけるCetuximabを含む治療の観察研究	大屋 夏生	研究部(医)	53,846	補 ㊦	特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構
240	組織修復に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明と制御	尾池 雄一	研究部(医)	41,400,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
241	脳・腸連関を支える自律神経系の理解から恒常性維持機構の解明へ	太田 訓正	研究部(医)	3,000,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
242	心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管恒常性メカニズムの解明	向山 政志	研究部(医)	4,000,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
243	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究	馬場 秀夫	研究部(医)	400,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
244	iPS細胞ストックを基盤とする進行胃がんに対する免疫細胞療法の開発	千住 寛	研究部(医)	28,933,100	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
245	「免疫機構をターゲットとした創薬」(iPS細胞を利用した免疫細胞薬の開発)	西村 泰治	研究部(医)	18,181,819	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
246	iPS細胞を用いた再生医療における組織不適合の解決	千住 寛	研究部(医)	14,920,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
247	tRNA修飾異常に起因した2型糖尿病のコンパニオン診断薬開発を目指した臨床研究	富澤 一仁	研究部(医)	37,250,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
248	B型肝炎等ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	満屋 裕明	研究部(医)	70,660,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
249	多剤耐性HIV変異株に強力で高い中枢神経系透過性を有する新規抗HIV薬の開発	満屋 裕明	研究部(医)	175,000,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
250	Cdkal1スクアレル保有2型糖尿病患者に対する治療薬ならびにコンパニオン診断技術の開発	富澤 一仁	研究部(医)	57,900,000	補 ㊦	国立研究開発法人科学技術振興機構
251	産婦人科学分野に関する学術研究動向 - 子宮内膜症治療ストラテジーにおける新たな潮流-	片淵 秀隆	研究部(医)	1,300,000	補 ㊦	独立行政法人日本学術振興会
252	プロテオーム統合データベースPOSTおよびフォーカスデータベースの開発	荒木 令江	研究部(医)	4,000,000	補 ㊦	国立研究開発法人科学技術振興機構
253	網膜緑内障に対する0.4%リバスジル点眼の効果に関する前向き研究	谷原 秀信	研究部(医)	346,154	補 ㊦	興和株式会社/特定非営利活動法人臨床評価研究所
254	病理病期I期(T1>2cm、TNM分類6版)非小細胞肺癌完全切除例における術後治療に関する観察研究	鈴木 実	研究部(医)	121,326	補 ㊦	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
255	介護施設、一般病院におけるBPSD初期対応の効果検証に関する研究(地域におけるBPSD初期対応の効果検証)	橋本 衛	研究部(医)	440,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
256	高齢者の視覚機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究(緑内障)	谷原 秀信	研究部(医)	500,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
257	Zarit介護負担尺度日本語版(J-ZBI)による介護負担評価:標準化による有用性の向上(認知症の疾患別、重症度別のJ-ZBIを用いた介護負担の検討・カットオフポイントの検討)	池田 学	研究部(医)	500,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
258	難治性ニューロパシーの新規治療の開発と評価	安東 由喜雄	研究部(医)	700,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
259	咽頭筋ジストロフィーの臨床評価とレジストリーの構築、および効果的な運用に関する研究	山下 賢	研究部(医)	378,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
260	iPS細胞を用いた治療法における諸問題の解決	千住 寛	研究部(医)	1,500,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立がん研究センター
261	iPS細胞由来のミエロイド系細胞ライン(iPS-ML)の臨床応用への基盤整備	千住 寛	研究部(医)	500,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立がん研究センター
262	FTLDIについてのコホート構築、運営	池田 学	研究部(医)	3,076,924	補 ㊦	国立大学法人名古屋大学
263	新生児マススクリーニング対象疾患の遺伝子診断パネルの疾患担当	遠藤 文夫	研究部(医)	1,000,000	補 ㊦	国立大学法人岐阜大学
264	HBZの主要エピトープの詳細な解析	栗井 博丈	研究部(医)	1,818,182	補 ㊦	国立大学法人京都大学



265	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 CSPS.com	安東 由喜雄	研究部(医)	0	補 ⑤	公益財団法人循環器研究振興財団
266	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	猪股 裕紀洋	研究部(医)	240,000	補 ⑤	国立大学法人九州大学
267	ライフデザイン啓発事業	大場 隆	研究部(医)	1,100,000	補 ⑤	熊本県
268	脳腫瘍のトランスレーショナル研究	倉津 純一	研究部(医)	769,231	補 ⑤	国立研究開発法人国立がん研究センター
269	成人T細胞白血病病例登録、造血幹細胞移植臨床試験	松野 直史	研究部(医)	500,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立がん研究センター
270	化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1療法について検討する第II相臨床試験(KSCC1501A)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ⑤	一般社団法人九州臨床研究支援センター
271	化学療法未治療のHER2陰性進行・再発胃癌に対するオキサリプラチン+S-1+トラスツズマブ併用療法について検討する第II相臨床試験(KSCC1501B)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	補 ⑤	一般社団法人九州臨床研究支援センター
272	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するベルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究- ベルツズマブ再投与試験 -JBCRG-M05 (PRECIOUS)	山本 豊	研究部(医)	41,539	補 ⑤	一般社団法人JBCRG
273	循環器疾患診療実態調査(JROAD)におけるJROAD-DPCと臨床データのValidationに関する研究(分担研究課題:虚血性心疾患に関するValidation)	辻田 賢一	研究部(医)	700,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
274	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担研究課題:冠動脈硬化の可視化・内皮機能障害の評価)	辻田 賢一	研究部(医)	1,500,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
275	動脈硬化症の進行防止のための診療体系の確立に関する研究(分担研究課題:血糖変動と動脈硬化性疾患の関連解析)	掃本 誠治	研究部(医)	1,500,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
276	循環調節分子の生体での機能解明による新規治療の開発基盤研究(分担研究課題:心筋由来分泌因子の機能解明による新規心不全治療法の開発基盤研究)	尾池 雄一	研究部(医)	1,000,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
277	成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する新規治療を開発する医師主導試験	菊川 佳敏	研究部(医)	400,000	補 ⑤	福岡大学
278	既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルnab-パクリタキセルのランダム化比較第III相試験(J-AXEL)	興梠 博次	研究部(医)	0	補 ⑤	国立大学法人九州大学
279	アルツハイマー病のBPSDの発現機序の解明と治療法の開発研究	池田 学	研究部(医)	830,000	補 ⑤	国立大学法人大阪大学
280	ツバヒ全ゲノム解析に基づくB型肝炎ウイルス感染感受性小動物モデルの開発に関する研究	押海 裕之	研究部(医)	2,502,669	補 ⑤	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
281	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究の創設	池田 学	研究部(医)	5,384,616	補 ⑤	国立大学法人九州大学
282	①九州・沖縄地区IRUDならびに神経内科領域専門分科会の整備 ②アミロイドニューロパチーの未診断患者を救うシステムの研究③封入体筋炎の未診断患者を救うシステムの研究	安東 由喜雄	研究部(医)	770,000	補 ⑤	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
283	臨床データの収集とシステム検証	池田 学	研究部(医)	675,232	補 ⑤	国立大学法人大阪大学
284	胃癌腹膜播種の機序解明と新しい治療法の開発に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	3,000,000	補 ⑤	出水市病院事業
285	水俣病脳病変におけるミクログリア/マクロファージの抗原性保持に対する長期ホルマリン固定の影響の解析	竹屋 元裕	研究部(医)	1,500,000	補 ⑤	熊本県
286	標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	河野 吉昭	研究部(医)	230,000	補 ⑤	国立大学法人九州大学
287	平成27年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	6,341,604	補 ⑤	国立研究開発法人国立環境研究所
288	平成27年度子どもの健康と環境に関する全国調査 南九州・沖縄ユニットセンター委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	161,513,831	補 ⑤	環境省
289	「進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究-CREATIVE-」(研究略称名: CSPOR-melanoma)	尹 浩信	研究部(医)	0	補 ⑤	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
290	成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する新規治療を開発する医師主導試験	菊川 佳敏	研究部(医)	400,000	補 ⑤	国立大学法人鹿児島大学
291	内分泌療法耐性エストロゲン受容体陽性転移乳がんに対する二次内分泌療法のコホート研究(研究略称名: HORSE-BC研究)	山本 豊	研究部(医)	0	補 ⑤	一般社団法人CSPOR-BC
292	乳癌の術前・術後化学療法における発熱性好中球減少症に関する観察研究	山本 豊	研究部(医)	0	補 ⑤	一般社団法人CSPOR-BC
293	局所進行子宮頸癌根治放射線療法施行例に対するUFTによる補助化学療法のランダム化第III相比較試験	片淵 秀隆	研究部(医)	0	補 ⑤	一般社団法人北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム
294	平成27年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	6,341,604	補 ⑤	国立研究開発法人国立環境研究所
295	平成27年度子どもの健康と環境に関する全国調査 南九州・沖縄ユニットセンター委託業務	加藤 貴彦	研究部(医)	161,513,831	補 ⑤	環境省
296	心臓CTにおける冠動脈プラーク解析に関する研究	宇都宮 大輔	研究部(医)	1,000,000	補 ⑤	出水市病院事業
297	慢性的痛みに対する認知行動療法の効果-特にfMRIを用いた評価-	山本 達郎	研究部(医)	2,000,000	補 ⑤	出水市病院事業
298	糖尿病合併症発症・進展の病態の解明	瀬ノ口 隆文	研究部(医)	1,000,000	補 ⑤	出水市病院事業

299	新規分子標的治療をめざした卵巣癌幹細胞の研究	本原 剛志	研究部(医)	1,000,000	補 ㊦	出水市病院事業
300	皮膚悪性腫瘍の転移に関する研究	尹 浩信	研究部(医)	1,000,000	補 ㊦	出水市病院事業
301	若年性アルツハイマー病に対するグループ療法と家族心理教育を組み合わせた介入プログラムの開発	池田 学	研究部(医)	615,385	補 ㊦	国立大学法人筑波大学
302	エクソソームRNA解析によるインフルエンザの予防・診断・治療基盤技術の創出	押海 裕之	研究部(医)	11,010,000	補 ㊦	国立研究開発法人科学技術振興機構
303	RNAモディフスの確立及び神経・精神疾患への応用	魏 范研	研究部(医)	10,000,000	補 ㊦	国立研究開発法人科学技術振興機構
304	水俣病の自然歴および合併疾患の検討	安東 由喜雄	研究部(医)	1,500,000	補 ㊦	熊本県
305	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)	甲斐 豊	医学部附属病院	0	補 ㊦	財団法人先端医療振興財団
306	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4 冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	菅村 公一	医学部附属病院	8,308	補 ㊦	公益財団法人循環器病研究振興財団
307	慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討 Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy - Statin and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)	坂本 憲治	医学部附属病院	269,220	補 ㊦	一般財団法人生産開発科学研究所
308	血管網の自己組織化機構の解明	西山 功一	医学部附属病院	18,400,000	補 ㊦	国立研究開発法人科学技術振興機構
309	冠動脈ステント留置術後12ヶ月超を経た心房細動患者に対するワーファリン単独療法の妥当性を検証する多施設無作為化試験【OAC-ALONE Study: Optimizing Antithrombotic Care in patients with Atrial fibrillation and coronary stent study】	海北 幸一	医学部附属病院	0	補 ㊦	一般財団法人生産開発科学研究所
310	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	渡邊 聖樹	医学部附属病院	0	補 ㊦	公益財団法人循環器病研究振興財団
311	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study: Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patients with stable coronary artery disease Study)	海北 幸一	医学部附属病院	872,319	補 ㊦	公益財団法人循環器病研究振興財団
312	内転型産壊性発声障害に対するチタンブリッジを用いた甲状軟骨形成術2型の効果に関する研究	讃岐 徹治	医学部附属病院	72,585,000	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
313	関節リウマチに対するアバタセプトの効果の検討(ABT-ATS)	平田 真哉	医学部附属病院	0	補 ㊦	帝京大学臨床研究センター
314	オレンシアを投与された関節リウマチ・動脈硬化症併発患者における、動脈硬化進展の要因となる抗体群の同定と、抗体群・動脈硬化バイオマーカー・構造マーカーに対するオレンシアの有効性の検討(略称: ORACLE Arthritis)	平田 真哉	医学部附属病院	0	補 ㊦	帝京大学臨床研究センター
315	平成27年度治験推進研究事業 治験の実施に関する研究【A型ボツリヌス毒素】(課題番号:CCT-C-2608)	讃岐 徹治	医学部附属病院	896,000	補 ㊦	公益社団法人日本医師会
316	遅発型ボンベ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	小篠 史郎	医学部附属病院	83,078	補 ㊦	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
317	新しい遺伝子改変動物モデルを用いた循環器疾患の病態研究(分担課題名:心筋微小循環系のオンチップ上再現と応用展開)	西山 功一	医学部附属病院	1,500,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
318	本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究(分担課題名:心機能データ解析)	山室 恵	医学部附属病院	250,000	補 ㊦	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
319	硫酸抱合型尿毒症物質産生阻害薬の探索-創薬標的蛋白のバリデーションおよびスクリーニング系の基礎的検討	齋藤 秀之	医学部附属病院	10,357,640	補 ㊦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
320	放射線治療による血液毒性を予測する治療計画パラメーターの同定	齋藤 哲雄	医学部附属病院	1,000,000	補 ㊦	出水市病院事業
321	平成27年度環境研究総合推進費(PM2.5成分および黄砂が循環器・呼吸器疾患に及ぼす短期曝露影響に関する研究((4)大気中粒子が救急搬送に及ぼす影響の疫学研究))	笠岡 俊志	医学部附属病院	2,760,894	補 ㊦	国立研究開発法人国立環境研究所
322	悪性神経膠腫患者における網羅的遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	中村 英夫	医学部附属病院	2,000,000	補 ㊦	出水市病院事業

322件

1,434,440,441

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	右山 洋平	呼吸器内科	Pseudomonas aeruginosa Bacteremia among Immunocompetent and Immunocompromised Patients: Relation to Initial Antibiotic Therapy and Survival	Japanese Journal of Infectious Diseases, 69巻2号、91~6、2016年
2	福林 光太郎	消化器内科	Evaluation of sorafenib treatment and hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma: a comparative study using the propensity score matching method	Cancer Medicine, 4巻8号、1214~1223、2015年
3	藤原 志保	血液内科	Lactate, a putative survival factor for myeloma cells, is incorporated by myeloma cells through monocarboxylate transporters 1.	Exp Hematol Oncol, 4巻12号、2015年
4	荒木 栄一	糖尿病・代謝・内分泌内科	Efficacy and safety of once-weekly dulaglutide in combination with sulphonylurea and/or biguanide compared with once-daily insulin glargine in Japanese patients with type 2 diabetes: a randomized, open-label, phase III, non-inferiority study.	Diabetes, Obesity and Metabolism, 17巻10号、994~1002、2015年
5	荒木 栄一	糖尿病・代謝・内分泌内科	Efficacy and safety of dapagliflozin in addition to insulin therapy in Japanese patients with type 2 diabetes	Journal of Diabetes Investigation, 2016年
6	辻田 賢一	循環器内科	Impact of Left Ventricular Hypertrophy on Impaired Coronary Microvascular Dysfunction. International.	International Journal of Cardiology, 187巻、411~413、2015年
7	掃本 誠治	循環器内科	High Mortality Rate in Hemodialysis Patients Who Undergo Invasive Cardiovascular Procedures Related to Peripheral Artery Disease - A community-based observational study in Kumamoto Prefecture -	Circulation Journal, 79巻6号、1269~1276、2015年
8	平田 快紘	循環器内科	The Pivotal Role of a Novel Biomarker of Reactive Oxygen Species in Chronic Kidney Disease.	Medicine, 94巻25号、e1040~e1040、2015年
9	有馬 勇一郎	循環器内科	Comparison of the effect of CYP2C19 polymorphism on clinical outcome between acute coronary syndrome and stable angina.	Journal of Cardiology, 65巻6号、494~500、2015年
10	掃本 誠治	循環器内科	Impact of esomeprazole on platelet reactivity and clinical outcome according to CYP2C19 genotype in coronary heart disease patients during dual antiplatelet therapy.	Thrombosis Research, 135巻6号、1081~1086、2015年
11	末田 大輔	循環器内科	The accuracy of central blood pressure waveform by novel mathematical transformation of non-invasive measurement.	International Journal of Cardiology, 189巻、244~246、2015年
12	時津 孝典	循環器内科	Clinical significance of pulse pressure in patients with coronary artery disease.	Internal Journal of Cardiology, 190巻、299~301、2015年
13	山本 英一郎	循環器内科	The pivotal role of eNOS uncoupling in vascular endothelial dysfunction in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Internal Journal of Cardiology, 190巻、335~337、2015年
14	辻田 賢一	循環器内科	Impact of dual lipid-lowering strategy with Ezetimibe and Atorvastatin on coronary plaque regression in patients with percutaneous coronary intervention: insights from multicenter randomized controlled PRECISE-IVUS Trial.	Journal of the American College of Cardiology, 66巻5号、495~507、2015年
15	小川 久雄	循環器内科	A Trial of Telmisartan Prevention of Cardiovascular Disease (ATTEMPT-CVD): Biomarker Study.	European Journal of Preventive Cardiology, 2015年
16	末田 大輔	循環器内科	Association of Estimated Central Blood Pressure Measured Non-invasively with Pulse Wave Velocity in Patients with Coronary Artery Disease.	International Journal of Cardiology (IJC) Heart & Vasculature, 8巻、52~54、2015年
17	泉家 康宏	循環器内科	Expression of Let-7 family microRNAs in skin correlates negatively with severity of pulmonary hypertension in patients with systemic scleroderma.	International Journal of Cardiology (IJC) Heart & Vasculature, 8巻、98~102、2015年
18	末田 大輔	循環器内科	Novel Vascular Indices Evaluated Non-Invasively in End-stage Renal Disease Patients on Hemodialysis.	Clinical Trials and Regulatory Sciences in Cardiology, 9巻、1~3、2015年

19	時津 孝典	循環器内科	Relationship between inter-arm blood pressure differences and future cardiovascular events in coronary artery disease.	Journal of Hypertension, 33巻9号、1780~1790、2015年
20	石井 正将	循環器内科	Acetylcholine-provoked coronary spasm at site of significant organic stenosis predicts poor prognosis in patients with coronary vasospastic angina.	Journal of the American College of Cardiology、66巻10号、1105~1115、2015年
21	荒木 智	循環器内科	Sirt7 contributes to myocardial tissue repair by maintaining TGF- $\beta$ signaling pathway.	Circulation、132巻15号、1081~1093、2015年
22	辻田 賢一	循環器内科	Plaque REgression with Cholesterol absorption Inhibitor or Synthesis inhibitor Evaluated by IntraVascular UltraSound (PRECISE-IVUS Trial): Study protocol for a randomized controlled trial.	Journal of Cardiology、66巻3号、353~358、2015年
23	末田 大輔	循環器内科	A Novel quantitative assessment of whole blood thrombogenicity in patients treated with a non-vitamin k oral anticoagulant.	International Journal of Cardiology、197巻、98~100、2015年
24	藤末 昂一郎	循環器内科	Prognostic Significance of Peripheral Microvascular Endothelial Dysfunction in Heart Failure with Reduced Left Ventricular Ejection Fraction.	Circulation Journal、79巻、2623~2631、2015年
25	宮崎 貴志	循環器内科	Nocturia in patients with sleep-disordered breathing and cardiovascular disease.	Circulation Journal、79巻12号、2632~2640、2015年
26	日下 裕章	循環器内科	LCZ696, angiotensin II receptor-neprilysin inhibitor, ameliorates high-salt-induced hypertension and cardiovascular injury more than valsartan alone.	American Journal of Hypertension、28巻12号、1409~1417、2015年
27	海北 幸一	循環器内科	Determinants of Myocardial Lactate Production During Acetylcholine Provocation Test in Patients With Coronary Spasm.	Journal of the American Heart Association、4巻、e002387~e002387、2015年
28	日下 裕章	循環器内科	Clinical Significance of Plasma Galectin-3 in Patients with Coronary Artery Disease.	International Journal of Cardiology、201巻、532~534、2015年
29	山永 健之	循環器内科	Physiological basis of discordance between coronary flow velocity reserve and hyperemic microvascular resistance for evaluating coronary microvascular dysfunction in patients without atherosclerotic obstruction.	International Journal of Cardiology、201巻、535~537、2015年
30	木村 優一	循環器内科	High serum levels of thrombospondin-2 correlate with poor prognosis of patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Heart and Vessels、3巻1号、52~59、2016年
31	田畑 範明	循環器内科	Patients with both CYP2C19 loss-of-function allele and peripheral endothelial dysfunction are significantly correlated with adverse cardiovascular events following coronary stent implantation.	Journal of Cardiology、67巻1号、104~109、2016年
32	伊藤 美和	循環器内科	Total Thrombus-Formation Analysis System (T-TAS) Can Predict Periprocedural Bleeding Events in Patients Undergoing Catheter Ablation for Atrial Fibrillation.	Journal of the American Heart Association、5巻1号、2016年
33	尾上 喜郎	循環器内科	Fragmented QRS complex is a diagnostic tool in patient with left ventricular diastolic dysfunction.	Heart and vessels、31巻4号、563~567、2016年
34	山本 英一郎	循環器内科	The Clinical Significance of Plasma Neopterin in Heart Failure with Preserved Left Ventricular Ejection Fraction.	ESC heart failure、3巻1号、53~59、2016年
35	中島 誠	神経内科	Vertebrobasilar ectasia in patients with lacunar stroke:The SPS3 trial	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases、24巻5号、1052~1058、2015年
36	植田 明彦	神経内科	Genotypic and phenotypic spectrum of CADASIL in Japan: the experience at a referral center in Kumamoto University from 1997 to 2014	Journal of Neurology、262巻8号、1828~1836、2015年
37	中根 俊成	神経内科	The characteristics of camptocormia in patients with Parkinson's disease: A large cross-sectional multicenter study in Japan.	Journal of the Neurological Sciences、358巻1-2号、299~303、2015年
38	三隅 洋平	神経内科	Recipient Aging Accelerates Acquired Transthyretin Amyloidosis After Domino Liver Transplantation	Liver Transplantation、22巻5号、656~664、2015年
39	安東 由喜雄	神経内科	Effects of tafamidis treatment on transthyretin (TTR) stabilization, efficacy, and safety in Japanese patients with familial amyloid polyneuropathy (TTR-FAP) with Val30Met and non-Val30Met: A phase III, open-label study.	Journal of the Neurological Sciences、362巻、266~271、2016年

40	福井 寿啓	心臓血管外科	Gender differences in patients undergoing surgery for acute type A aortic dissection.	J Thorac Cardiovasc Surg.、150巻、581~587、2015年
41	福井 寿啓	心臓血管外科	Biocompatibility of cardiopulmonary bypass conduit with new polymer Senko E-Ternal Coating.	Perfusion.、30巻、572~579、2015年
42	岡本 健	心臓血管外科	Aortic regurgitation due to commissural dehiscence of the aortic valve.	J Clin Exp Cardiol.、7巻、415~415、2016年
43	福井 寿啓	心臓血管外科	Mild to deep hypothermia in patients undergoing thoracoabdominal aortic repair.	Ann Vasc Surg.、31巻、39~45、2016年
44	福井 寿啓	心臓血管外科	Acute coronary syndrome does not have a negative impact on outcomes after coronary artery bypass grafting in patients with left main disease.	Ann Thorac Cardiovasc Surg.、21巻、261~267、2015年
45	藤野 孝介	呼吸器外科	Insulinoma-Associated Protein 1 Is a Crucial Regulator of Neuroendocrine Differentiation in Lung Cancer.	Am J Pathol.、185巻12号、3164~3177、2015年
46	原田 和人	消化器外科	LINE-1 methylation level and patient prognosis in a database of 208 hepatocellular carcinomas.	Annals of Surgical Oncology、22巻4号、1280~1287、2015年
47	坂本 快郎	消化器外科	Post-chemotherapeutic CEA and CA19-9 are prognostic factors in patients with colorectal liver metastases treated with hepatic resection after oxaliplatin-based chemotherapy.	Anticancer Research、35巻4号、2359~2368、2015年
48	東 孝暁	消化器外科	Evaluation of patients with hepatic portal venous gas who can be treated with conservative therapy.	Acute Medicine & Surgery. 3巻1号、16~20、2015年
49	橋本 大輔	消化器外科	Impact of postoperative weight loss on survival after resection for pancreatic cancer.	Journal of Parenteral and Enteral Nutrition、39巻5号、598~603、2015年
50	宮本 裕士	消化器外科	Predictors of long-term survival in patients with stage IV colorectal cancer with multi-organ metastases: A single-center retrospective analysis.	International Journal of Clinical Oncology、20巻6号、1140~1146、2015年
51	宮本 裕士	消化器外科	Sarcopenia is a negative prognostic factor after curative resection of colorectal cancer.	Annals of Surgical Oncology、22巻8号、2663~2668、2015年
52	橋本 大輔	消化器外科	Recombinant soluble thrombomodulin for postoperative disseminated intravascular coagulation.	Journal of Surgical Research、197巻2号、405~411、2015年
53	原田 和人	消化器外科	Suppressor microRNA-145 is epigenetically regulated by promoter hypermethylation in esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer Research、35巻9号、4617~4624、2015年
54	東 孝暁	消化器外科	miR-9-3p plays a tumour-suppressor role by targeting TAZ (WWTR1) in hepatocellular carcinoma cells.	British Journal of Cancer、113巻2号、252~258、2015年
55	辛島 龍一	消化器外科	Erratum to: Advantages of FDG-PET/CT over CT alone in the preoperative assessment of lymph node metastasis in patients with esophageal cancer.	Surgery Today、45巻4号、478~478、2015年
56	辛島 龍一	消化器外科	Advantages of FDG-PET/CT over CT alone in the preoperative assessment of lymph node metastasis in patients with esophageal cancer.	Surgery Today、45巻4号、471~477、2015年
57	別府 透	消化器外科	Long-term and perioperative outcomes of laparoscopic versus open liver resection for colorectal liver metastases with propensity score matching: A multi-institutional Japanese study.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences、22巻10号、711~720、2015年
58	馬場 祥史	消化器外科	Molecular characteristics of basaloid squamous cell carcinoma of the esophagus: Analysis of KRAS, BRAF, and PIK3CA mutations and LINE-1 methylation.	Annals of Surgical Oncology、22巻11号、3659~3665、2015年
59	馬場 秀夫	消化器外科	Changes in expression levels of ERCC1, DPYD, and VEGFA mRNA after first-line chemotherapy of metastatic colorectal cancer: results of a multicenter study.	Oncotarget、6巻32号、34004~34013、2015年
60	志垣 博信	消化器外科	Epigenetic changes in gastrointestinal cancers.	J Cancer Metastasis Treat Editorial、1巻3号、113~122、2015年
61	岩槻 政晃	消化器外科	The clinical significance of circulating tumor cells in gastrointestinal cancer.	J Cancer Metastasis Treat Editorial、1巻3号、130~137、2015年
62	原田 和人	消化器外科	Low visceral fat content is associated with poor prognosis in a database of 507 upper gastrointestinal cancers.	Annals of Surgical Oncology、22巻12号、3946~3953、2015年
63	吉田 直矢	消化器外科	Reconstruction using a pedunculated gastric tube with duodenal transection after esophagectomy and pharyngolaryngectomy.	Annals of Surgical Oncology、22巻13号、4352~4352、2015年

64	東 孝暁	消化器外科	Prognostic impact of visceral fat amount and branched-chain amino acids (BCAA) in hepatocellular carcinoma.	Annals of Surgical Oncology, 22巻3号、1041~1047、2015年
65	別府 透	消化器外科	Effect of branched-chain amino acid supplementation on functional liver regeneration in patients undergoing portal vein embolization and sequential hepatectomy: A randomized controlled trial.	Journal of Gastroenterology, 50巻12号、1197~1205、2015年
66	末田 愛子	乳腺・内分泌外科	Differential role of MACC1 expression and its regulation of the HGF/c-Met pathway between breast and colorectal cancer.	Int J Oncol., 46巻5号、2143~2153、2015年
67	竹下 卓志	乳腺・内分泌外科	Droplet digital polymerase chain reaction assay for screening of ESR1 mutations in 325 breast cancer specimens.	Transl Res., 166巻6号、540~553、2015年
68	竹下 卓志	乳腺・内分泌外科	Prognostic role of PIK3CA mutations of cell-free DNA in early-stage triple negative breast cancer.	Cancer Sci., 106巻11号、1582~1589、2015年
69	富口 麻衣	乳腺・内分泌外科	Prediction of sentinel lymph node status using single-photon emission computed tomography (SPECT)/computed tomography (CT) imaging of breast cancer.	Surg Today., 46巻2号、214~223、2016年
70	門久 政司	小児外科・移植外科	Living donor liver transplantation from a heterozygous parent for classical maple syrup urine disease	Pediatric Transplantation, 19巻3号、E66~E69、2015年
71	阪本 靖介	小児外科・移植外科	Current status of deceased donor split liver transplantation in Japan.	H Hepatobiliary Pancreat Sci., 22巻12号、837~845、2015年
72	前田 喜寛	泌尿器科	C5aR is frequently expressed in metastatic renal cell carcinoma and plays a crucial role in cell invasion via the ERK and PI3 kinase pathways.	Oncol Rep., 33巻4号、1844~1850、2015年
73	元島 崇信	泌尿器科	Sorafenib enhances the antitumor effects of anti-CTLA-4 antibody in a murine cancer model by inhibiting myeloid-derived suppressor cells.	Oncol Rep., 33巻6号、2947~2953、2015年
74	江藤 正俊	泌尿器科	Phase II clinical trial of sorafenib plus interferon-alpha treatment for patients with metastatic renal cell carcinoma in Japan	BMC Cancer., 15巻、667~、2015年
75	元島 崇信	泌尿器科	CXCL10 and CCL2 mRNA expression in monocytes is inversely correlated with the HLA-DR lower fraction of monocytes in patients with renal cell carcinoma.	Oncol Lett., 11巻3号、1911~1916、2016年
76	今村 裕子	産科婦人科	Choriocarcinoma coexisting with epithelioid trophoblastic tumor of the uterine horn.	Gynecologic Oncology Reports, 14巻、31~33、2015年
77	山口 宗彰	産科婦人科	Long-Term Outcome of Aromatase Inhibitor Therapy With Letrozole in Patients With Advanced Low-Grade Endometrial Stromal Sarcoma.	International Journal of Gynecological Cancer, 25巻9号、1645~1651、2015年
78	興梠 健作	小児科	Biotin-responsive basal ganglia disease: a case diagnosed by whole exome sequencing	J Hum Genet, 60巻7号、357~362、2015年
79	徳永 琢也	整形外科	The local application of gelatin hydrogel sheets impregnated with platelet-derived growth factor-BB promotes tendon-to-bone healing after rotator cuff repair in rats, Arthroscopy.	The Journal of Arthroscopic and Related Surgery, 31巻8号、1482~1491、2015年
80	中村 孝幸	整形外科	Angiopoietin-like protein 2 promotes inflammatory conditions in the ligamentum flavum in the pathogenesis of lumbar spinal canal stenosis by activating interleukin-6 expression.	European Spine Journal, 24巻9号、2001~2009、2015年
81	徳永 琢也	整形外科	FGF-2 Stimulates the Growth of Tenogenic Progenitor Cells to Facilitate the Generation of Tenomodulin-positive Tenocytes in a Rat Rotator Cuff Healing Model.	The American Journal of Sports Medicine, 43巻10号、2411~2422、2015年
82	井手 淳二	整形外科 (関節再建先端治療学寄附講座)	Functional and structural comparisons of the arthroscopic knotless double-row suture bridge and single-row repair for anterosuperior rotator cuff tears.	Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 24巻10号、1544~1554、2015年
83	永田 武大	整形外科	Evaluation of the utility of the Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stress score for predicting post-operative morbidity after orthopaedic surgery.	International orthopaedics, 39巻11号、2167~2172、2015年
84	藤本 徹	整形外科	Surgical Management of Posterior Occipito-cervical Fusion for Non-RA Cervical Destructive Lesions.	Journal of Spine Research, 6巻12号、1753~1757、2015年
85	中村 香代	皮膚科	Serum concentrations of Flt-3 ligand in rheumatic diseases.	Biosci Trends, 9巻5号、342~349、2015年

86	工藤 英郎	皮膚科	EBI3 Downregulation Contributes to Type I Collagen Overexpression in Scleroderma Skin.	J Immunol.、195巻8号、3565~2573、2015年
87	梶原 一亨	皮膚科	Biweekly gemcitabine therapy induces complete remission in cutaneous angiosarcoma resistant to multiple anticancer drugs.	J Dermatol.、42巻12号、1197~2298、2015年
88	中村 香代	皮膚科	The role of PSMB9 up-regulated by interferon signature in the pathophysiology of cutaneous lesions of dermatomyositis and luos erythematosus	Br J Dermatol、2016年
89	宮下 梓	皮膚科(総合臨床研究部)	Investigation of FOXM1 as a Potential New Target for Melanoma.	PLoS One.、10巻、e0144241~e0144241、2015年
90	宮下 梓	皮膚科(総合臨床研究部)	Immunotherapy against Metastatic Melanoma with Human iPS Cell-Derived Myeloid Cell Lines Producing Type I Interferons.	Cancer Immunol Res.、4巻3号、248~258、2016年
91	高橋 枝里	眼科	Merlin regulates epithelial-to-mesenchymal transition of ARPE-19 cells via TAK1-p38MAPK-mediated activation.	Investigative Ophthalmology and Visual Science、56巻4号、2449~2458、2015年
92	大平 さおり	眼科	Simultaneous increase in multiple proinflammatory cytokines in the aqueous humor in neovascular glaucoma with and without intravitreal bevacizumab injection.	Investigative Ophthalmology and Visual Science、56巻6号、3541~3548、2015年
93	谷原 秀信	眼科	Additive intraocular pressure-lowering effects of the Rho kinase inhibitor, ripasudil (K-115), combined with timolol or latanoprost: a report of 2 randomized clinical trials.	JAMA Ophthalmology、133巻7号、755~761、2015年
94	井上 俊洋	眼科	Efficacy and safety of SNJ-1656 in primary open-angle glaucoma or ocular hypertension.	Acta Ophthalmologica、93巻5号、e393~395、2015年
95	大平 さおり	眼科	Factors influencing aqueous proinflammatory cytokines and growth factors in uveitic glaucoma	PLoS One.、11巻1号、e0147080~、2016年
96	谷原 秀信	眼科	One-year clinical evaluation of 0.4% ripasudil (K-115) in patients with open-angle glaucoma and ocular hypertension	Acta Ophthalmologica、94巻1号、e26~34、2016年
97	高橋 枝里	眼科	Effects of mechanical stress and vitreous samples in retinal pigment epithelial cells.	Biochemical and Biophysical Research Communications、470巻3号、569~574、2016年
98	松村 理世	眼科	Bleb-like findings caused by idiopathic scleral thinning in an eye with absolute glaucoma.	Journal of Glaucoma、25巻3号、e288~290、2016年
99	小島 祥	眼科	Visualization of intravitral immune cell dynamics after conjunctival surgery using multiphoton microscopy	Investigative Ophthalmology and Visual Science、57巻3号、1207~1212、2016年
100	西澤 麻保	眼科	The influence of phacoemulsification on surgical outcomes of trabeculectomy with mitomycin-C for uveitic glaucoma.	PLoS One.、11巻3号、e0151947~、2016年
101	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Laryngeal Reinnervation Featuring Refined Nerve-Muscle Pedicle Implantation Evaluated via Electromyography and Use of Coronal Images.	Otolaryngology-Head and Neck Surgery、152巻4号、697~705、2015年
102	平山 真敏	歯科口腔外科	An oncofetal antigen, IMP-3-derived long peptides induce immune responses of both helper T cells and CTLs.	Oncoimmunology、5巻6号、e1123368~e1123368、2016年
103	井料 保彦	画像診断・治療科	Collateral circulation via the circle of Willis in patients with carotid artery steno-occlusive disease: evaluation on 3-T 4D MRA using arterial spin labelling.	Clinical Radiology、70巻9号、960~965、2015年
104	北島 美香	中央放射線部	Visualization of the Medial and Lateral Geniculate Nucleus on Phase Difference Enhanced Imaging.	American Journal of Neuroradiology、36巻9号、1669~1674、2015年
105	中浦 猛	画像診断・治療科 (画像診断解析学寄付講座)	Low contrast dose protocol involving a 100 kVp tube voltage for hypervascular hepatocellular carcinoma in patients with renal dysfunction.	Japanese Journal of Radiology、33巻9号、566~576、2015年
106	平田 健一郎	画像診断・治療科	Added value of a single-energy projection-based metal-artifact reduction algorithm for the computed tomography evaluation of oral cavity cancers.	Japanese Journal of Radiology、33巻10号、650~656、2015年

107	尾田 済太郎	画像診断・治療科 (画像診断解析学寄付講座)	Improved image quality at 256-slice coronary CT angiography in patients with a high heart rate and coronary artery disease: comparison with 64-slice CT imaging.	Acta Radiologica、56巻 11号、1308~1314、 2015年
108	東 美菜子	画像診断・治療科	Evaluation of Intracranial Dural Arteriovenous Fistulas: Comparison of Unenhanced 3T 3D Time-of-flight MR	Magnetic Resonance in Medical Sciences、14巻4 号、285~293、2015年
109	井上 聖二郎	画像診断・治療科	Percutaneous transhepatic portal embolization using foam ethanalamine oleate and carbon dioxide (CO <sub>2</sub> ): a pilot study.	Acta Radiologica、56巻 11号、1361~1367、 2015年
110	木藤 雅文	画像診断・治療科	Validity of the size-specific dose estimate in adults undergoing coronary CT angiography: comparison with the volume CT dose index.	The International Journal of Cardiovascular Imaging、 31巻Suppl 2号、205~ 211、2015年
111	浪本 智弘	画像診断・治療科	Characterization of Liver Tumors by Diffusion-Weighted Imaging: Comparison of Diagnostic Performance Using the Mean and Minimum Apparent Diffusion Coefficient.	Journal of Computer Assisted Tomography、 39巻4号、453~461、 2015年
112	松崎 志保	神経精神科	The relationship between Post-stroke depression and physical recovery.	Journal of Affective Disorders、176巻、56~ 60、2015年
113	小山 明日香	神経精神科	Suicidal ideation and related factors among dementia patients.	Journal of Affective Disorders、1巻178号、 66~70、2015年
114	橋本 衛	神経精神科	Clinical features of delusional jealousy in elderly patients with dementia.	Journal of Clinical Psychology、76巻6号、 691~695、2015年
115	橋本 衛	神経精神科	Relationship between dementia severity and behavioral and psychological symptoms of dementia in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease patients.	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra、5巻2号、244~ 254、2015年
116	甲斐 恭子	神経精神科	Relationship between eating disturbance and dementia severity in patients with Alzheimer's disease.	PLoS One、10巻8号、 2015年
117	田中 響	神経精神科	Relationship between dementia severity and behavioural and psychological symptoms in early-onset Alzheimer's disease.	Psychogeriatrics、15巻4 号、242~247、2015年
118	柏木 宏子	神経精神科	Neurocognitive features in male patients with schizophrenia exhibiting serious violence: A case control study.	Annals of General Psychiatry、14巻46 号、2015年
119	藤瀬 昇	神経精神科	Comparisons of prevalence and related factors of depression in middle-aged adults between urban and rural populations in Japan.	Journal of Affective Disorders、190巻、772 ~776、2016年
120	池田 学	神経精神科	Adequacy of Using Consensus Guidelines for Diagnosis of Dementia with Lewy Bodies in Clinical Trials for Drug Development.	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders、41 巻42371号、55~67、 2016年
121	浜崎 禎	脳神経外科	An in vivo morphometry study on the standard transsylvian trajectory for mesial temporal lobe epilepsy surgery	Springerplus、4巻号、 2015年
122	篠崎 友哉	麻酔科学	Acetaminophen and non-steroidal anti-inflammatory drugs interact with morphine and tramadol analgesia for the treatment of neuropathic pain in rats.	Journal of Anesthesia、 29巻3号、386~395、 2015年
123	藤本 昌史	麻酔科学	Response to rocuronium and its determinants in patients with myasthenia gravis: A case-control study.	European Journal of Anaesthesiology、32巻 10号、672~680、2015 年
124	野中 崇広	麻酔科学	Comparison of the analgesic effect of intravenous acetaminophen with that of flurbiprofen axetil on post-breast surgery pain: a randomized controlled trial	Journal of Anesthesia、 2016年
125	河田 仁	中央検査部	Human Neutrophil Elastase Induce Interleukin-10 Expression in Peripheral Blood Mononuclear Cells through Protein Kinase C Theta/Delta and Phospholipase Pathways.	Cell J.、17巻4号、692 ~700、2016年
126	蒲原 英伸	集中治療部	Infective Endocarditis Caused by Odontogenic Infection with Dentinogenesis Imperfecta in Jeune Syndrome.	Clinical Case Reports、5 巻、604~606、2015年
127	廣瀬 隼	医療情報経営企画部	Validity of E-PASS System for Postoperative Morbidity of Spinal Surgery.	J Spinal Disord Tech.、 28巻10号、E595~600、 2015年
128	中村 祐也	医療技術部 診療放射線技術部門	Usefulness of the Chang attenuation correction method with use of a CT-based $\mu$ map by FBP reconstruction in 201 Tl SPECT-MPI	Ann Nucl Med、29巻5 号、467~473、2015年



129	中村 祐也	医療技術部 診療放射線技術部門	Reliability and advantage of using non-uniform Chang's attenuation correction method using a CT-based attenuation map in 99mTc-GSA SPECT/CT hepatic imaging.	EJNMMI Physics, 2巻1号、17~17、2015年
130	中口 裕二	医療技術部 診療放射線技術部門	Dynamic positioning accuracy of a novel multileaf collimator for volumetric modulated arc therapy	Radiological Physics and Technology, 9巻1号、121~126、2015年
131	下之坊 俊明	医療技術部 診療放射線技術部門	Low-tube-voltage selection for non-contrast-enhanced CT: Comparison of the radiation dose in pediatric and adult phantoms	Physica Medica, 32巻1号、194~201、2016年
132	下東 吉信	医療技術部 診療放射線技術部門	Evaluation of target localization accuracy for image-guided radiation therapy by 3D and 4D cone-beam CT in the presence of respiratory motion: A phantom study	Biomedical Physics and Engineering Express, 2巻2号、1~7、2016年
133	小山 耕太	地域医療支援センター	Remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema syndrome in individuals with type 2 diabetes mellitus or impaired glucose tolerance.	Diabetes Res Clin Pract., 110巻1号、e5~e8、2015年

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	別府 透	消化器外科	転移性肝癌—大腸癌肝転移を中心に	消化器外科学レビュー 2015-'16: 最新主要文献と解説、86~91、2015年
2	蔵重 淳二	消化器外科	消化管癌における術前vs.術後補助化学療法、	日本医事新報、4753号、24~30、2015年
3	宮本 裕士	消化器外科	抗癌剤【消化管】	消化器外科学レビュー 2015-'16: 最新主要文献と解説、191~196、2015年
4	東 孝暁	消化器外科	門脈枝塞栓術に必要な解剖と画像診断	外科、77巻8号、878~881、2015年
5	馬場 秀夫	消化器外科	展望 Promising Vistas in Cancer Research	臨床外科、70巻9号、1114~1118、2015年
6	値賀 さくら	産科婦人科	熊本の妊婦における歯科健診の実態	日本衛生学雑誌、70巻2号、167~172、2015年
7	水溜 絵津子	産科婦人科	胎児異常ソフトマーカーとしての単一臍帯動脈の有用性と現状	熊本産科婦人科学会雑誌、59巻、31~36、2015年
8	中村 公俊	小児科	尿素サイクル異常症(CPS1欠損症、OTC欠損症、シトルリン血症I型)	肝・胆・膵、71巻1号、167~172、2015年
9	犬童 康弘	小児科	先天性無痛無汗症の分子病態からみた神経成長因子と痛みの生理学: 内感覚と交感神経と情動の関係	脳と発達、47巻3号、173~180、2015年
10	松本 志郎	小児科	ラット母乳中アミノ酸と乳腺組織のアミノ酸代謝	アミノ酸研究、8巻2号、149~153、2015年
11	中村 英一	整形外科	距骨軟骨損傷に対する鏡視下骨片接合術 経内果的アプローチ	整形・災害外科、58巻9号、1131~1138、2015年
12	竹田 大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	摘出に全身麻酔を必要とした魚骨異物の4例	耳鼻咽喉科臨床、108巻5号、367~373、2015年
13	東家 完	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	in vivo/vitro における声帯星形細胞(VFSC)の研究 ~VFSCの研究に最適な動物種と、ヒト培養VFSCの特徴~	喉頭、27巻2号、67~73、2015年
14	亀之園 佑太	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	胸部食道癌術後患者に対する頸部屈曲位嚥下の咽頭残留に及ぼす効果	嚥下医学、5巻1号、84~91、2016年
15	吉田 遼司	歯科口腔外科	口腔小唾液腺腫瘍73症例の臨床統計学的検討	日本口腔腫瘍学雑誌、27巻4号、127~134、2015年

16	山本 景一	中央検査部	当院NICUにおけるMRSA監視培養の費用対効果最適化への取り組み	日本環境感染学会誌、 30巻5号、331～335、 2015年
----	-------	-------	-----------------------------------	---------------------------------------

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 申請書類の提出、委員会における審議、審議結果通知、変更の手続、有害事象が発生した場合、臨床研究・医療技術の終了、中止等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置、任務（利益相反自己申告書による審査）、申告書の提出、審査結果等（倫理委員会、治験審査委員会への審議結果通知等）、指導等、審議申し立て、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年544回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、研究活動における不正行為について、知っておくべき研究倫理の用語の説明	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科にて実施される専門修練プログラムの主な内容は、以下のとおり。

- ・内視鏡ハンズオンセミナー等各種セミナー
- ・エコー経皮的腎生検トレーニング
- ・内シャント作成トレーニング
- ・学会形式による症例プレゼンテーション
- ・英語論文抄読会
- ・症例検討会
- ・各種カンファレンス
- ・神経筋生検実習
- ・神経生理検査実習
- ・手術症例術前術後検討会
- ・内視鏡縫合構築トレーニング
- ・Web病理診断検討会
- ・各種研究発表会、講演会等への参加
- ・病理標本の鏡検及び病理診断書報告書の作成
- ・検体処理
- ・心臓カテーテル検査
- ・心エコー実技講習会等各種講習会

2 研修の実績

研修医の人数	277.3人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
興梠 博次	呼吸器内科	教授	39年	
佐々木 裕	消化器内科	教授	37年	
満屋 裕明	血液内科	教授	26年	
満屋 裕明	膠原病内科	教授	26年	
向山 政志	腎臓内科	教授	30年	
荒木 栄一	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	26年	
掃本 誠治	循環器内科	准教授	28年	
安東 由喜雄	神経内科	教授	33年	
福井 寿啓	心臓血管外科	教授	22年	
鈴木 実	呼吸器外科	教授	27年	
馬場 秀夫	消化器外科	教授	33年	
岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌内科	教授	36年	
猪股 裕紀洋	小児外科	教授	39年	
猪股 裕紀洋	移植外科	教授	39年	
中村 公俊	小児科	准教授	36年	
河野 吉成	泌尿器科	講師	13年	
片渕 秀隆	産科・婦人科	教授	35年	
水田 博志	整形外科	教授	38年	
水田 博志	リハビリテーション科(リハビリテーション部)	教授	38年	
尹 浩信	皮膚科	教授	27年	
尹 浩信	形成・再建科	教授	27年	
谷原 秀信	眼科	教授	31年	
蓑田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	26年	

山下 康行	画像診断・治療科	教授	35年
大屋 夏生	放射線治療科	教授	29年
石川 智久	神経精神科	助教	16年
矢野 茂敏	脳神経外科	准教授	28年
山本 達郎	麻酔科	教授	34年
笠岡 俊志	総合診療科(救急 ・総合診療部)	教授	30年
笠岡 俊志	救急外来	教授	30年
三上 芳喜	病理診断科(病理 部)	教授	26年
中山 秀樹	歯科口腔外科	教授	20年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>【薬剤部】 薬剤部では、職員研修を目的として、定期的に①「薬剤管理指導検討会」及び②「新薬説明会」、また、不定期に③「くすりの勉強会」を開催している。</p> <p>【看護部】 看護部では、教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を策定し、実施している。</p> <p>【中央検査部】 特定機能病院として、高度な臨床検査体制を構築するため、別紙の研修をスタッフ全員に対して行っており、臨床検査の精度保証の向上に努めている。</p> <p>【ME 機器センター】 人工呼吸器に関する研修を実施することは、医療事故防止の面で有効と考え毎年実施している。特に昨年度は看護師だけでなく、呼吸リハの関係で理学療法士や作業療法士も参加した。</p> <p>【中央放射線部】 特定機能病院としての高度な救急医療に対応できるよう、救急放射線検査に関する研修を実施している。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>【薬剤部】 別紙（1）のとおり</p> <p>【看護部】 別紙（2）のとおり</p> <p>【中央検査部】 別紙（3）のとおり</p> <p>【ME 機器センター】 別紙（4）のとおり</p> <p>【中央放射線部】 別紙（5）のとおり</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容 「個人情報保護」、「院内感染対策」、「医療安全管理」等、本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず習得しておくべき基本的かつ重要な事項について周知徹底させる。</p> <p>・研修の期間・実施回数 平成28年4月1日(金)、4月4日(月) ※採用者があり次第、随時実施</p> <p>・研修の参加人数 430名(内訳：4月1日採用者351名、中途採用者79名)</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 水田 博志
管理担当者氏名	各診療科長、中央診療施設等の長、医療情報経営企画部長、薬剤部長、看護部長、医療技術部長、栄養管理部長、医療安全管理部長、各課長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	中央手術部
		看護記録	看護部
		検査所見記録	中央検査部
		エックス線写真	中央放射線部
		紹介状	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科
		従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医事課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター



		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	計画書の提出あり
		監査委員会の設置状況	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	計画書の提出あり
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課
		職員研修の実施状況	
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	計画書の提出あり		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 深澤 博昭	
閲覧担当者氏名	総務課長 坂田 親信	
閲覧の求めに応じる場所	応接室 (管理棟 3階)	
閲覧の手続の概要		
病院事務部総務課 (総務担当) へ、閲覧の要求を行う。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 熊本大学医学部附属病院は、適切な安全安心で質の高い医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故（インシデント、アクシデント等）、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年14回 ・ 活動の主な内容：   (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。   (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。   (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。   (4) 本院において重大な問題その他医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。   (5) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること。   (6) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。   (7) 医療事故発生時の患者や家族への説明及び公表に関すること。   (8) その他医療に係る安全管理に関し必要な事項</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容： 従業者を対象に、医療安全管理に関する重要な周知事項や、職種横断的なテーマ（例：血管外漏出や急変時の初期対応）について具体的な事例を取りあげて実施している。（採用時のオリエンテーションとは別に実施している。）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデントが発生した場合、各部署からインシデントレポートにより医療安全管理部へ報告される。特に、重大なインシデントについては部署リスクマネージャーから即時にゼネラルリスクマネージャーへ連絡があり、ICに同席するなど初期対応から医療安全管理部と協力し対応している。 報告されたインシデントレポートを基に、医療安全管理部ならびに医療安全管理委員会において、要因分析と再発防止策の検討を実施している。検討した再発防止策は、リスクマネージャー連絡会議において警鐘事例とともに各部署のリスクマネージャーに通達し、その後リスクマネージャーから全職員に周知される。 また、医療安全管理部による巡視、部署リスクマネージャーによる相互チェック、医療安全管理部運営委員会委員による院内巡視など、定期的に監査を実施している。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 感染対策委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li><li>3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 抗微生物薬適正使用に関する基本方針</li><li>6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>8. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染防止対策に関する事項の審議</li><li>2. 院内感染防止対策研修会の企画・実施</li><li>3. 感染予防に関する事業の企画・実施</li><li>4. MRSA等の薬剤耐性菌の分離状況についての報告</li><li>5. 抗MRSA薬適正使用報告</li><li>6. 感染制御チーム（ICT）からの報告</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. (医療系) 『ここは知っとこ、あなたを守る職業感染対策』<ul style="list-style-type: none"><li>・当院における針刺し切創粘膜曝露事例報告</li><li>・当院のワクチンプログラム</li></ul></li><li>(事務系) 『病院で仕事をする上で気をつけること』<ul style="list-style-type: none"><li>・針刺し防止・流行性角結膜炎</li></ul></li><li>2. (医療系) 『薬剤耐性菌に立ち向かうには：最近の動向と抗菌薬適正使用推進』<ul style="list-style-type: none"><li>・耐性菌の動向と耐性菌防止への取組み</li><li>・当院における抗菌薬使用の実態と抗菌薬適正使用の心得</li></ul></li><li>(事務系) 『今年は大丈夫？インフルエンザ・ノロウイルス予防策』</li></ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>各職種からなるICTを組織し、病院感染対策マニュアルの改定、院内感染発生時の対応、院内ラウンド、抗菌薬適正使用の推進、院内感染防止の教育・啓発、職業感染防止対策などの活動を行っている。</p>	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【院内研修】 「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」(講師：副薬剤部長、4月2日) 「看護師に必要な薬理作用の基礎知識」(講師：薬剤部長、6月19日)</p> <p>【病棟別研修】 「麻薬・向精神薬の管理」(講師：薬剤師、対象：西病棟12階看護師、4月16日) 「麻薬・向精神薬を含む薬剤管理について」(講師：薬剤師、対象：東病棟9階看護師、7月22日) 「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理」 (講師：薬剤師、対象：クリニカルラダーレベルⅠ以上の看護師、7月31日) 「麻薬・向精神薬・筋弛緩薬・プロポホル・血液製剤の取り扱いについて」 (講師：薬剤師、対象：中央手術部看護師、8月24日) 「化学療法関連 薬剤師による説明について」 (講師：薬剤師、対象：東病棟7階看護師、9月9日) 「経口抗がん剤(TS-1内服治療について)」 (講師：薬剤師、対象：看護外来看護師、10月29日) 「手術室における麻薬・向精神薬・筋弛緩薬等の取り扱い」 (講師：麻薬室長、薬剤師、対象：中央手術部臨床工学技士、12月8日) 「抗菌薬の作用特性や投与法」 (講師：薬剤師、対象：看護師(感染リンクナース)、1月26日) 「最新のC型肝炎治療薬」 (講師：薬剤師、対象：東病棟3階看護師、2月24日)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (①・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命(平成19年4月)し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。業務手順書は平成19年7月に作成した。 平成27年10月には、専門委員会を開催し業務手順書を改訂した(第10版)。今回の改訂内容については、(1)救急カート内の医薬品配置の統一についての追記、(2)医薬品投与時の確認事項を5Rに統一、(3)処方オーダー時の禁忌と併用禁忌の対応について追記、(4)ハイリスク薬が処方された外来患者への対応を追記、(5)患者持参薬への病棟担当薬剤師の対応を追記、(6)入院処方の薬袋等へのハイリスク薬印字について追記、(7)病棟担当薬剤師によるハイリスク薬の説明について追記、(8)病棟担当薬剤師の退院時の薬学的管理指導について追記、(9)口頭指示受け時の対応を追記、(10)薬剤部内各部署作成の業務手順書改訂に伴う関連箇所の変更等である。また、院内採用医薬品の追加および削除に対応して、本院におけるハイリスク薬リストを改訂した。 病棟・外来診療棟等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。手順書に基づく業務の実施についてはチェックリストにより年1回確認している。</p>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容、外来化学療法室における疑義照会事例および病棟薬剤業務に関連した疑義照会事例等について、情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況等を報告している。院内で発生した薬剤業務関連のインシデント事例について薬剤師への情報共有・周知を図り、再発防止のための注意喚起に努めている。院内各端末からは、病院情報管理システムを用いて、最新（毎月1回更新）の添付文書情報を閲覧可能としており、また、新規採用医薬品については、毎月発行の院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて概要と注意事項等の情報を発信する共に、院内専用の医薬品情報ホームページにも掲示している。

調剤（注射剤調剤を含む）に際しては、質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用の目的に活用している。がん化学療法においては、処方ミスを回避し安全性を確保するため、注射用抗がん剤に対する処方には専用のレジメンオーダリングシステムのみでの運用に限定している。注射用抗がん剤の無菌調製は、休日も含め全て薬剤部で担当している。また、治療域の狭い薬物や個体差の大きい薬物等については、薬物血中濃度モニタリング（TDM）による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬については、毎月度開催される感染対策委員会においてTDM実施状況を調査報告し、TDMに基づいた適正投与を行うように医師に対し周知徹底を図っている。

未承認医薬品については、薬剤部で調剤（分包依頼、剤形変更などの特殊製剤依頼等も含む）する際は、未承認医薬品の使用が人を対象とする医学系研究臨床研究・医療技術部門倫理委員会の承認を経ていることを書面にて確認している。担当薬剤師は未承認医薬品等の使用状況及び規程遵守状況等を月1回程度定期的に確認し、医薬品安全管理責任者へ報告する予定である。

更に、平成27年度においては、以下のような新規の取り組みを開始した。まず、病棟管理の麻薬および向精神薬については、病棟担当薬剤師が病棟スタッフと一緒に平日1回確認することで管理を強化した。調剤室における毒薬（内用剤）については、常時施錠を徹底し管理を厳格化した。時間外の毒薬および向精神薬の保管場所の鍵の管理においては、夜勤者および休日勤務者が引き継ぎ、施錠確認を記録する管理表を作成し施錠の徹底を図った。医薬品の使用期限切れを防止するための方策として、医薬品在庫管理システムに「在庫期限一覧（倉庫）」と「在庫期限一覧（フロア）」の集計機能を追加し、毎月末に期限チェックと期限切れ薬剤の廃棄を徹底するとともに、内用剤・外用剤の保管棚には全て使用期限を表示した。また、病棟薬剤業務における処方提案や重要性の高い疑義照会の内容についても、医療安全管理委員会へ報告することとした。更に、平成26年12月より試行的に開始した院外処方箋への検査値（13項目）表示を平成27年4月からは全面的に開始した。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年17回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成27年 4月 輸注ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方 . . . . . 研修医48名          4月 放射線治療器RALSの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員8名          4月 閉鎖式保育器の基礎 . . . . . 看護師14名、医療技術職員12名          5月 人工呼吸器のきほん . . . . . 医師5名、看護師16名、医療技術職員8名          6月 除細動器の日常点検と使用方法 . . . . . 医師3名、看護師11名、医療技術職員6名          7月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員8名          7月 補助循環装置（IABP・PCPS） . . . . . 医師1名、看護師23名、医療技術職員14名          9月 パスキュアアクセス管理 . . . . . 看護師2名、医療技術職員13名          9月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員8名          10月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員8名          10月 一目でわかるグラフィック . . . . . 医師4名、看護師13名、医療技術職員26名          11月 搬送式保育器、新生児用救急車 . . . . . 看護師3名、医療技術職員8名          11月 除細動器の使用法とAED . . . . . 看護師43名、医療技術職員9名          11月 放射線治療器RALSの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員9名          12月 放射線治療器RALSの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員9名          平成28年 1月 体外循環における安全対策 . . . . . 医師2名、看護師43名、医療技術職員15名          2月 放射線治療器リニアックの安全な使用法 . . . . . 医療技術職員9名</p> <p>★ 医療機器導入時研修 19回 医師3名 看護師35名、医療技術職員146名          ★ 各病棟研修会 1回 看護師8名</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>医療機器保守・点検業務手順書に則り、人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、直線加速器、RALS、輸液ポンプ、シリンジポンプ、小型シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、空気除菌・脱臭装置、AED、麻酔器は、保守点検に関する計画を策定し、ME機器センター技士ならびに製造販売業者が保守点検を実施している。保守点検後は、その状況を月報として、医療機器安全管理責任者に報告し、最終的には病院長が委員長となっている医療機器安全管理委員会に提出されている。</p> <p>上記の医療機器は、始業・終業時点検、使用中点検についても医療機器保守・点検業務手順書に則り実施している。なお、医療機器不具合時の対応法についても院内ネットワーク上で閲覧できる状態であり、不具合機器は、医療機器修理依頼書と共にME機器センターに持参してもらっている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全情報で医療機器の不具合に関する事例が報告された際、聞きなれない言葉がでた際には、詳細を記したME機器センターニュースを発行し、病棟棟に配布している。また、他施設で起こった医療事故に関しては、医療機器の安全使用のための研修会の中でも説明することもある。なお、研修会に参加できなかった医療職員のために当日配布した資料を回覧板として渡し、後日、回収している。</p> <p>医療機器の添付文書はME機器センターで管理すると共に、院内ネットワーク上で何時でも閲覧できる。当センター職員は、院外の講演会、技術講習会へも積極的に参加し、技術の習得に努めている。</p>	

(様式第6)

規則第9条の23第1項第1号から第15号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>平成28年10月1日付けで本院病院規則の一部改正を行い、医療安全管理責任者は医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する旨の条項を新設した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	① (5名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>○医薬品の安全使用のために必要となる医薬品の使用状況の確認及び関連情報の整理 医薬品安全管理責任者は、指名した薬剤師（以下、担当薬剤師）に病院情報システムから得られたデータ、薬剤部疑義照会システムに記録されたデータ並びに薬剤部病棟業務カンファレンスで報告された事例等を基に、院内における医薬品の使用状況を月1回程度定期的に確認させる。その結果を踏まえて、重要な添付文書情報、緊急安全性情報、安全性速報、適応外使用・禁忌医薬品使用・未承認医薬品使用（「適応外使用」、「禁忌医薬品使用」及び「未承認医薬品等」）の医薬品安全管理に係る情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者が確認する予定である。</p> <p>○医薬品の適正使用に係る情報の院内周知及び周知状況の確認 医薬品安全管理責任者は、担当薬剤師より報告された情報を医療安全管理委員会へ報告し、本委員会の判断の下に、必要に応じて医療安全管理部より院内全体に対し医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知する。担当薬剤師は、注意喚起情報が関連する診療科等に周知されたことを書面等にて確認し、周知状況を医薬品安全管理責任者が確認する予定である。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>○適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報収集と確認 担当薬剤師による適応外使用及び禁忌医薬品使用に関する情報を月1回程度定期的に収集した内容について、医薬品安全管理責任者が確認する予定である。</p> <p>○未承認医薬品の使用状況の確認 担当薬剤師による未承認医薬品の使用状況等を月1回程度定期的に確認した内容について、医薬品安全管理責任者が確認する予定である。</p> <p>・担当者の指名の有無 ① 有・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	① 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( ① 有・無 )</p> <p>・規程の主な内容： 1. 説明文書・同意書（説明と同意、同意書の保存）、2. 説明記録、3. 証憑性、4. 患者署名の代筆について、5. 本人以外からの同意取得について（患者が18歳以上で医療に関する判断能力がないか乏しい場合、患者が18歳未満の場合）、よくある問題点・注意点</p>	



⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>病院における診療録その他の診療に関する記録の記載内容を管理する。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（19）名  うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（9）名  うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名  うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（4）名  その他、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、臨床工学技士1名、教員1名、事務職員1名（いずれも兼任）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の安全性の確保及び向上に係る方策の立案、推進及び検証に関すること。</li> <li>(2) 医療安全管理に係る教育・研修の実施に関すること。</li> <li>(3) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。</li> <li>(4) 事故その他医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導に関すること。</li> <li>(5) 医療に係る安全管理に係る連絡調整業務に関すること。</li> <li>(6) 医療安全管理マニュアルに関すること。</li> <li>(7) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会に係る事務に関すること。</li> <li>(8) その他医療に係る安全管理に関し必要な事項</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>計画書の提出あり</p> </div> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	



(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：125件（H27. 10. 1～H28. 3. 31）  
※平成27年10月1日から報告開始
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 件 

計画書の提出あり
----------

・医療安全管理委員会の活動の主な内容

- (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。
- (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。
- (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。
- (4) 本院において重大な問題その他医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
- (5) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること。
- (6) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
- (7) 医療事故発生時の患者や家族への説明及び公表に関すること。
- (8) その他医療に係る安全管理に関し必要な事項

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ））・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ））・無）
- ・技術的助言の実施状況

計画書の提出あり
----------

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者様やご家族からの医療の安全管理に係る相談等に対応する窓口として「患者相談室」を設置しており、直接の相談や電話による相談に対して適切に応じる体制を整えている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

計画書の提出あり

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

計画書の提出あり

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 病院機能評価 日本医療機能評価機構 平成21年6月5日承認 Ver5.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 熊大病院ホームページ、熊大病院ニュース（年2～3回発行）、熊大病院概要（毎年度発行）等を活用し、本院の役割に関する情報を発信している。 また、熊本県内外の医療機関と交流を図るため、熊本大学医学部附属病院連携病院長懇談会を設置しているが、当会において、各医療機関と意見交換を密にすることにより、種々の情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 当該科からのコンサルテーションシートに基づき、他科の診療科が必要に応じて診療・治療・検査等を連携して行う。	

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【薬剤部】				
研修名	期間	実施回数	参加人員	備考
①薬剤管理指導検討会	毎月1回1時間程度	12回	平均 40.7名	
②新薬説明会	毎月1回1時間程度	13回	平均 39.4名	
③くすりの勉強会	必要に応じ開催(1~2時間)	10回	平均 28.3名	

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

## 平成27年度院内教育

研修名	対象	目標	内容	方法	日時	講師	場所	研修 生人数	時間数
新規採用者 オリエンテー ション	平成27年度新規採用者・平成26年度中途採用者 約100人	病院の組織を知り看護部の一員として組織に慣れ、メンバーシップが発揮できる。	病院・看護部の組織と機能を学び、看護師としての心構えを習得できる。	講義	4/1・2・3 (水・木・金) 8:30～17:15 4/6(月)8:00 ～16:45 4/7(火) 10:15～ 19:00	病院長、看護部長、事務部長、各診療・医療技術部門長、事務職員	市医師会館 2階講堂 他	77人	22:00
感染対策基礎 研修	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	感染対策の基本を理解し、感染予防のための手指衛生と个人防护具の着脱の実践ができる	・標準予防策と感染経路別予防策 ・个人防护具の着脱方法 ・手洗い演習	講義 演習	4/3(金) 14:45～ 17:15	藤本陽子・吉田真由美 感染管理認定看護師 感染リンクナース	総合研究棟 3階講習室	80人	2:30
新人看護師の ための メンタルヘルス	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	メンタルヘルスとは何かを知り、自身の心の健康状態に気づきストレスに対応できる	・職場における心の健康づくり ・職場におけるメンタルヘルス対策	講義 GW	4/6(月) 13:00～ 15:00	熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生	総合研究棟 3階講習室	66人	2:00
現場における 医療安全	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	医療安全管理に関する基本的な考え方を理解する	・組織における医療安全 ・ダブルチェックの方法、KYT	講義 演習	4/6(月) 15:10～16: 40	吉村昌子GRM	総合研究棟 3階講習室	82人	1:30
社会人としての 基本姿勢と コミュニケーション	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	・社会人としての自覚と責任ある行動が取れる ・専門職として主体的に自己研鑽を図ることができる ・医療チームおよび患者、家族との良好なコミュニケーションを図ることができる ・組織における役割、心構えを理解する	・組織における役割・心構え ・コミュニケーションの取り方	講義 GW ロール プレイ	4/7(火) 10:15～ 12:00	教育委員会	東病棟12 階 多目的 ホール	79人	1:45
看護倫理	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	看護者の倫理とは何かを理解し、日常の看護ケアのなかで看護師としてどのように行動すべきかを学ぶ	・看護者の倫理綱領 ・看護ケアにおける倫理的 問題実践事例の検討	講義 GW	4/7(火) 13:00～ 15:00	急性・重症患者看護専門看護師 吉里孝子看護師長	東病棟12 階 多目的 ホール	81人	2:00



情報システム 関連パソコン 操作研修	平成26年度 新規採用者・転任 者・育児休 業復帰者	KAIJUの基本操 作を学び、日常業 務に活用できる	・KAIJUの基本操作 ・診療録参照方法のデモン ストレーション ・操作演習 ・ファーストクラスの掲示板 閲覧方法とメールの送信受 信方法	演習	4/7(火) 15:10~17: 10	看護情報リン クス	各部署	76人	2:00
注射・与薬 輸液ポンプ研 修	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約80人	・注射与薬のプロ セスを理解し、実 践に活かす ・輸液ポンプ・シリ ンジポンプの原理 と使用方法を理解 し、実践に活かす	・注射与薬プロセス ・輸液ポンプ・シリ ンジポンプ使用 方法	講義 演習	4/11(土) 8:00~16:45	安全リンクナース・ 実地指導者・教育 支援室・看護部安 全対策委員会	東病棟12 階 多目的 ホール・ 各部署	77人	7:45
シミュレー ション研修	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約100人	患者に安全安楽な 看護を提供するた めに基本的看護技 術の根拠を学び体 験する	・吸引・酸素吸入 ・直腸内与薬 ・口腔ケアなど	講義 演習	4/28(火)・30 (木)、5/1 (金)・27 (水)・28 (木)、 予備日6/23 (火) 8:00~16:45	看護教育支援室	中央診療 棟7階臨 床研修セ ンター 演 習室1~ 9・シミュ レーション 室1	68人	7:45
看護記録基礎 研修 (記録ステップ 1)	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約100人	看護記録の意義を 理解し、観察した 患者状態を記録で きる	・看護記録の意義 ・バイタルサイン測定後の 記録	講義 演習 GW	5/8(金) 13:45~ 16:45	埴田 貴代美看護 師長(看護情報委 員会) 看護情報 委員会	東病棟12 階 多目 的ホール	75人	3:00
重症度、医療・ 看護必要度基 礎研修	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約100人	・重症度、医療・看 護必要度の概念と 評価方法について 理解し、指導の もとに重症度、医 療・看護必要度の 評価と記録がで きる	重症度、医療・看護必要 度の基本的な考え 方と評価方法	講義	5/8(金) 12:35~ 13:35	畠本看護師長 看護部業務委員 会	東病棟12 階 多目 的ホール	78人	1:00
BLS・AED	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約100人	BLS(Basic Life Support) ・一次救命処置の 概要を理解し技術 を習得する ・AEDを正しく理 解し、使用できる	・BLS(一次救命処置の概 要及び実技) ・AED演習	講義 演習	5/14(木) 17:00~ 19:00	熊本大学医学部 附属病院 救急・ 総合診療部 谷口 講師 熊本大学医学部 附属病院 医師、 看護師、コメディ カル 熊本市消防局救 命救急士	総合研究 棟 3階講習 室	77人	2:00
糖尿病看護基 礎	H27年度採 用看護師・ H26年度中 途採用看 護師 約100人 他施設看 護師 約20 人	糖尿病に対する知 識、技術を身につ け、安全な看護が 提供できる	・糖尿病とは ・インスリン療法の基礎知 識 ・実技演習 ・糖尿病看護とリスクマネー ジメント	講義 演習	5/20(水) 8:30~12:00 13:15~ 16:45	藤本美枝糖尿病 看護認定看護師 日本糖尿病療養 指導士	東病棟12 階 多目 的ホール	75人	7:00

IV基礎研修	平成27年度新規採用看護師(経験者含む) 平成26年度中途採用者(部署からの希望者) 約76名	安全な静脈注射を実施するための知識、基本的な技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静脈注射に必要な解剖・生理</li> <li>・静脈注射実施基準と法的責任・教育計画</li> <li>・静脈注射に必要な緊急時の看護</li> <li>・静脈注射に必要な感染管理</li> <li>・静脈注射に必要な安全管理</li> <li>・看護師に必要な薬理作用の基礎知識</li> </ul>	講義	6/19(金) 8:30~16:30	業務委員会他	東病棟12階 多目的ホール	75人	7:00
フィジカルアセスメント基礎研修	平成27年度新規採用看護師および平成26年度中途採用者約100人 院外参加者約30人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)フィジカルイグザミネーション技術を修得し、正常と異常のアセスメントができる</li> <li>2)呼吸・循環・意識・腹部のフィジカルアセスメントに必要な知識を学ぶ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)問診・視診・触診・聴診に必要な講義</li> <li>2)フィジカルイグザミネーション技術の演習</li> <li>3)シミュレーションを活用した正常と異常の判断</li> </ol>	講義 演習 GW	6/29・30, 7/1 (月~水) 8:00~16:45	吉里孝子 急性・重症患者看護専門看護師 田中貴子 集中ケア認定看護師 上田郁美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 村上志穂 救急看護認定看護師	中央診療棟7階 総合臨床研修センターカンファレンス室・演習室・シミュレーション室	76人	23:15
新人ピアカウンセリングI (3ヶ月)	平成27年度新規採用者 76人	ピアカウンセリングによりアリティショックを緩和する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月間の振り返り</li> <li>・気持ちの共有</li> </ul>	GW	7/7(火) 15:10~16:45	教育委員会	山崎記念館1階	65人	1:30
情報収集の仕方と整理(記録ステップ2)	平成27年度新規採用看護師・平成26年度中途採用者	看護過程の概念を学び、NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護過程とは</li> <li>・NANDA-Iの13領域にそった情報収集と整理</li> <li>・グループワーク(ペーパーペイシエント事例を用いた情報の整理)</li> </ul>	講義 演習	7/17(金) 13:00~16:45	西病棟9階 村上美智代 看護師長	奥窪記念ホール	77人	3:45
基本的日常生活援助技術(OJT)	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	安全で安楽な基本的日常生活援助技術の根拠を学び理解し、実践ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD視聴</li> <li>・シナリオベースにした基本的日常生活援助技術の科学的根拠の理解と実践</li> </ul>	OJT 演習 講義	部署で計画	病棟教育担当者・実地指導者	OJT(部署で必ず実施)		

基本的日常生活援助技術評価 (OSCE)	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	2) 基本的臨床実践能力(看護の基本的姿勢と態度・看護技術・看護管理・接遇)を身につけ、患者に安全・安楽なケアが提供できる	模擬患者を設定した基本的日常生活援助技術の客観的臨床能力試験 (シナリオベースにした排泄・清潔・更衣・体位変換)	演習	10/19~22 (月~木) 8:00~16:45	教育委員会および教育担当副看護師長(部署の指導者を含む)	中央診療棟7階 臨床研修センター演習室 シミュレーション室	72人	32:40
新人6ヶ月研修「看護の中の気づき」	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	事例の振り返りやグループディスカッションを通して、自己の課題を明確にし、看護実践に活かせる	看護の中の気づき ・事例を通して看護の振り返りをする ・自己の課題を見いだす	GW	11/14(土) 8:00~14:00	看護師長	中央診療棟7階・東病棟12階 多目的ホール他	70人	5:00
新人ピアカウンセリングⅡ (6ヶ月)	平成27年度新規採用者 約80人	ピアカウンセリングによりリアリティショックおよび不安を緩和する	・6ヶ月間の振り返り ・気持ちの共有	GW	11/14(土) 14:10~14:50	教育委員会 看護師長	各会場	68人	0:40
PNS研修(ステップⅡ)	平成27年度新規採用看護師および平成26年度中途採用者 約80人	PNS場面におけるロールプレイを通して、自己の行動を振り返り、看護実践に活用できる	PNS場面での気づき ・気になった場面を検討する ・自己の行動を考える	GW	11/14(土) 15:10 ~ 16:45	看護部PNSワーキンググループ PNS新人教育グループ(副看護師長)	東病棟12階 多目的ホール	71人	1:35
看護統合OSCE (1年後)	H27年度採用看護師・H26年度中途採用看護師 約100人	・1年間の実践の学びを客観的に評価し、2年目になるに当たり自己の課題を明確にする ・基本的臨床実践能力(看護師の基本的姿勢と態度・看護技術・看護管理・接遇)を身につけ、患者に安全・安楽なケアが提供できる	・1年後のOSCE(客観的臨床能力試験)	演習	H28/1/18~22 (月~金) 9:20~15:50	教育委員会	中央診療棟7階 臨床研修センター	67人	25:00

# 平成 27 年度 院 内 教 育

研修名	対象	目標	内容	方法	日時	講師	場所	研修生 人数	時間 数		
クリニカルラダーレベル別研修	ラダーレベル I	災害看護	レベル I 約80人	・災害看護の基礎と特殊性について理解する ・災害発生時の対応について理解し、部署の防災に活かす。	講義	5/15(金) 8:15～10:00	村上志穂救急看護認定看護師	東病棟12階 多目的ホール	70人	1:45	
		がん看護 I	レベル I 約70人	がん看護の基礎的知識を理解し、実践に活かすことができる	講義	7/9(木) 13:00～16:45	がん化学療法看護認定看護師 岡本 泰子 緩和ケア認定看護師 高野 いづみ がん性疼痛認定看護師 坂口 まみ がん放射線療法看護認定看護師 太田 由利香	山崎記念館1階研修ホール	47人	3:45	
		看護診断 I	レベル I 以上 約71人	・NANDA分類 II 13領域、NANDA看護診断、NIC・NOCの概要を学ぶ	・NANANDA看護診断分類 II 13領域各項目の意味とアセスメント ・NANDA・NOC・NIC リンケージの実際	講義 GW	7/24(金) 14:00～16:45	熊本大学大学院生命科学研究部 教授 宇佐美しおり先生	東病棟12階 多目的ホール	71人	2:45
		看護診断 II	レベル I 以上 約70人	・NANDA分類 II 13領域、NANDA看護診断、NIC・NOCの概要を学び、実際に展開できる	・NANANDA看護診断分類 II 13領域各項目の意味とアセスメント ・NANDA・NOC・NIC リンケージの実際	講義 GW	9/18(金) 14:00～16:45	熊本大学大学院生命科学研究部 教授 宇佐美しおり先生	山崎記念館1階研修ホール	68人	2:45
		フィジカルアセスメント研修 (ラダー I 対象)	レベル I (研修受講前 e-ラーニングで100点取得した者)	・呼吸・循環・意識の知識とフィジカルイグザミネーション技術を活用した情報収集ができる ・得られた情報から患者を統合的にフィジカルアセスメントする能力を深める	・シミュレーターを用いた呼吸・循環・意識・腹部のフィジカルイグザミネーションを活用したアセスメントの実践	講義 演習 GW	9/29・30 (火・水) 8:00～16:45	吉里孝子急性・重症患者看護専門看護師 田中貴子集中ケア認定看護師 上田郁美脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 村上志穂救急看護認定看護師	中央診療棟7階 カンファレンスルーム・演習室	67人	15:30
		看護管理	レベル I	・組織管理の概念を理解し、部署の運営に参画できる ・チームメンバーとして主体的に行動できる。	・病院・看護部の組織管理の概念 ・医療制度・診療報酬制度・看護必要度の理解 ・病院組織とチーム医療 ・看護と経営	講義 GW	10/23(金) 13:15～16:45	山本 治美副看護部長	山崎記念館1階研修ホール	63人	3:30

リーダーレベルII-1

急変時の対応	レベルI	<ul style="list-style-type: none"> <li>急変対応に必要な知識とスキル(気道確保、モニター付き除細動)を習得する</li> <li>急変対応時のコミュニケーション、チームワークの必要性について理解し行動できる</li> <li>緊急性と優先度の判断が理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急変対応に必要な知識(急変の前兆、波形診断)</li> <li>スキル(気道管理・モニター付き除細動)トレーニング</li> <li>コミュニケーションとチームワーク概論</li> <li>シナリオトレーニング</li> </ul>	講義 演習 GW	H28/1/16 午前:8:00~12:10 午後:13:10~17:20	コメディカル心肺蘇生トレーニング部会・教育委員会	中央診療棟7階臨床研修センター 他	59人	8:00
プリセプター・フォローアップ研修:3ヶ月	平成27年度 実地指導者 (プリセプター)、教育 担当者	プリセプターの悩みを共有し、新人看護師に対する指導・教育技法を学び、新人看護師への支援ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人看護職員研修の進捗状況報告と問題点の明確化</li> <li>ロールプレイ</li> <li>リフレクション</li> <li>カウンセリング</li> <li>アサーティブ訓練</li> <li>コーチング</li> <li>面接技法</li> <li>新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方</li> </ul>	講義 GW	6/25(木) 14:00~16:45	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 宇佐美しおり 先生	東病棟12階 多目的 ホール	50人	2:45
プリセプター・フォローアップ研修:6ヶ月	平成27年度 プリセプター 約48人	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人の半年間の成長度合いを評価し、今後の指導内容や方法を検討する</li> <li>プリセプターの体験を通して自己の関わり方や自己成長を再確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人の成長度合いの評価と今後の指導のあり方</li> <li>自己の振り返りと指導者としての成長過程の確認</li> </ul>	講義 GW	9/25(金) 14:00~16:45	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 宇佐美しおり 先生	東病棟12階 多目的 ホール	48人	2:45
プリセプターシップ研修	平成28年度 実地指導者 (プリセプター) (クリニカル リーダーレベル II-1以上) 新副看護師 長 副看護師長の 希望者	熊大病院におけるプリセプターシップについて理解し実践する	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセプターシップの概念と熊大式プリセプターシップの理解</li> <li>指導方法</li> <li>新人の特性・面接技法</li> </ul>	講義 GW	H28/3/17(木) 8:00~16:45	熊本大学大学院 生命科学研究部 精神看護学教授 宇佐美しおり 先生	第一会議 室	52人	7:45
事例研究発表会	レベルII-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>理論と実践を統合し、研究的態度を養う</li> <li>事例研究の意義を理解する</li> <li>理論と実践の統合ができる</li> <li>研究的態度を養い看護の探求心を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例研究発表</li> <li>事例討議</li> </ul>	研究 発表	10/17(土) 8:00~13:00	座長及びファミリー リテーター 看護師長	東病棟12階 多目的 ホール、 山崎記念 館他	65人	5:00

メンタルケア トレーニング 研修	レベルⅡ-1	メンタルヘルスについて 正しく理解し、自身および 他者のメンタルケアトレー ニングを実施することが できる	・ストレスやメンタルケ アに対する基本的な 知識 ・自身、他者のメンタ ルケアの予防および 軽減に役立つ対処 法 ・メンタルケアトレー ニング	講義 GW	11/27(金) 8:00~16:45	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 宇佐美しおり 先生	東病棟12 階 多目的 ホール	35人	7:45
フィジカル アセスメント 研修 (ラダーⅡ- 1以上対象)	レベルⅡ-1 以上 (研修受講前 e-ラーニング で100点取得 した者)	1)フィジカルイグザミ ネーション技術を活用 し、情報収集の質を高 める 2)様々な症例に対する フィジカルアセスメント 能力を深める 3)フィジカルイグザミ ネーション技術や、フィ ジカルアセスメント指導 ポイントが分かる	・呼吸・循環・意識・ 不整脈に関する知識 とフィジカルイグザミ ネーション ・小グループでの事 例を通じた統合アセ スメント	講義 演習	10/27-28 (火・水) 8:00~16:45	吉里孝子急性・ 重症患者看護専 門看護師 田中貴子集中ケ ア認定看護師 上田郁美脳卒中 リハビリテーショ ン看護認定看護 師 村上志穂救急看 護認定看護師	中央診療 棟7階 カ ンファレン スルーム・ 演習室	64人	15:30
退院支援	ラダーレベル Ⅱ-1以上	1)医療提供体制の現状 を知る 2)患者・家族が安心し て退院後の療養環境に 移行するための支援を 学ぶ  他施設を見学しケアマ ネジャーや訪問看護師 の業務内容を理解し、 病院看護師として退院 支援の実践につなげる	1)退院支援・退院調 整が必要な背景の理 解 2)在宅療養継続の ための社会資源活用 の実際 3)退院支援・退院調 整の実際 ～急性期病院におけ る看護の役割～ 4)退院後の患者の 療養環境を見学する ～施設見学～	講義 GW 発表	11/30(月) 8:00~16:45	地域医療連携セ ンター	医学部総 合研究棟3 階講習室	26人	7:45
			1)緩和ケア病棟の見 学 2)ケアマネジャーや 訪問看護師の業務 内容見学	施設 見学 GW 発表	12/4(金) 8:30~16:45	地域医療連携セ ンター	鶴田病 院 ささえりあ 保田健 御幸病院 みゆきの 里 ささえりあ 本荘 他	26人	7:15
がん看護Ⅱ	ラダーレベ ルⅡ-1以上	がん患者に対する症状 マネジメントモデル (IASM)の活用方法を理 解し、実際の事例につ いてのアセスメントが できる	症状マネジメント (IASM)の概念およ び事例の展開	講義 GW 事例 検討	10/5(月) 8:00~16:45	安達美樹がん看 護専門看護師 坂口まみがん性 疼痛看護認定看 護師	東病棟12 階 多目的 ホール	26人	7:45
ラダーレ ベルⅡ- 2・Ⅲ  現任教育に おける人材 育成と教育 技法Ⅱ	レベルⅢ及 びⅢ相当 新副看護師 長	・看護実践現場にお ける教育の意義および 指導者としての役割を 理解する ・現認教育における 人材育成の方法を学 ぶ ・効果的な指導・教育 技法を学び、実践で きる	・教育の概念 ・教育の目的・目標 ・人材育成 ・教育技法 ・評価方法	講義 GW	5/29(金) 8:00~16:45	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 宇佐美しおり 先生	東病棟12 階 多目的 ホール	30人	7:45

看護倫理 (3回コース)	レベルⅡ-2 以上 約25人	1. 臨床における倫理的ジレンマに対する問題解決プロセスを理解し、事例を通して深めることができる。 2. 倫理的感受性を高めることができる	・倫理に関する重要概念 ・Jonsenの4分割の活用方法 ・臨床で体験した倫理的問題に関する事例検討	講義 GW	7/29(水) 13:00~16:45 9/10(木) 13:00~16:45 11/24(火) 13:00~16:45	急性・重症患者看護専門看護師 吉里 孝子 がん看護専門看護師 安達 美樹 精神看護専門看護師 江田由美子	東病棟12階多目的ホール	27人	11:15
事例検討 (ロイ看護論)	レベルⅢ相当の看護師	看護過程に看護理論を活用できる ・ロイの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめることができる ・看護実践における論理的思考ができる ・ロイの看護理論を自部署に浸透できる	・ロイの看護理論を用いた事例検討	講義 GW	10/30(金) 14:00~16:45 11/26(木) 14:00~16:45 12/10(木) 14:00~16:45	聖マリア学院大学教授 日高艶子先生	山崎記念館1階研修ホール	8人	8:25
事例検討 (オレム看護論)	レベルⅡ-2 以上	看護過程に看護理論を活用できる ・オレムの看護理論をもとに看護を展開し事例にまとめることができる ・看護実践における論理的思考を育てる ・オレムの看護理論を自部署に浸透できる	・オレム看護理論の概要 ・オレムの看護理論を用いた事例検討	講義 GW	10/16(金) 13:15~16:45 11/16(月) 13:00~16:45 12/18(金) 14:00~16:45 H28/1/15(金) 14:00~16:45 H28/1/28(木) 14:00~16:45 H28/2/12(金) 14:00~16:45	熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生	東病棟12階多目的ホール 第一会議室	19人	15:55
看護研究 (コース編)	ラダーレベルⅡ-2以上	・研究に関心を持ち実践と結びつけて考えることができる ・臨床の問いを明確にし、文献検索を行い研究計画書が作成できる ・看護研究の一連の流れを展開し院内外で発表することを目指す	・研究テーマの検討 ・文献検索の実際 ・研究計画書の作成 ・研究論文の作成	検討	5/21(木) 15:00~16:45 10/8(木) 15:00~16:30	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	看護部カンファレンスルーム	12人	9:15
次世代看護管理者研修	新副看護師長	・社会情勢や当院の形成状況、看護管理に関して現状を把握したうえで、看護管理に役立てることができる ・看護管理者として、副看護師長の役割を理解し組織運営ができる ・看護管理者として、メンタルヘルスについて正しく理解し、自身および他者のメンタルケアができる	・当院の経営状況 ・労務管理 ・看護管理 ・メンタルケア ・人材育成	講義	H28/3/16(水) 13:00~16:30	熊本大学大学院生命科学研究部精神看護学教授 宇佐美しおり先生	中診棟7階カンファレンスルーム	平成27年8月1日副看護長就任者1人 平成28年4月1日副看護長就任者5人	3:30

管理研修

<p>看護管理研修 グループダイナミクス</p>	<p>副看護師長 66人</p>	<p>1) 集団の中での人間の行動が理解できる 2) 集団力動を理解し、副看護師長としてリーダーシップをとることができる</p>	<p>1) 人間と集団の理解 2) 集団規範 3) 集団の中の個人の行動 4) リーダーシップとメンバーシップ</p>	<p>講義・GW</p>	<p>H28/2/27(土) 8:00～16:45</p>	<p>熊本大学 シニア教授 吉田道雄先生</p>	<p>新管理棟3階 第一会議室</p>	<p>66人</p>	<p>7:45</p>
<p>副看護師長管理研修</p>	<p>I 代表副看護師長18人 II 代表副看護師長26人</p>	<p>I 1. 他施設の特長を理解し、副看護師長役割について学ぶ 2. 副看護師長の役割を再確認し、マネジメントに役立てることができる II 1. 国立病院機構熊本医療センター看護部の特徴を理解できる 2. 副看護師長の実践場面を通して役割について学ぶことができる 3. 主体的に看護管理について学び、課題解決につなげることができる</p>	<p>・副看護師長役割 ・病院経営 ・人材育成</p>	<p>シャドウイング 伝達講習</p>	<p>I H28/1/15(金) 8:00～16:45 II H28/1/22(金) 9:00～16:30</p>	<p>病棟看護師長 副看護師長 看護部長</p>	<p>I 各部署 II 熊本医療センター 各部署</p>	<p>I 代表副看護師長18人 II 代表副看護師長26人</p>	<p>14:15</p>
<p>現任教育における人材育成と教育技法 I</p>	<p>看護師長32人</p>	<p>看護管理者として部署における人材育成の方法を学び指導できる</p>	<p>・教育の概念 ・管理者としての教育の目的・目標 ・管理者としての人材育成 ・管理者としての教育技法・評価方法</p>	<p>講義 GW</p>	<p>4/24(金) 9:30～16:45</p>	<p>熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生</p>	<p>東病棟12階 多目的ホール</p>	<p></p>	
<p>管理者のメンタルケアトレーニング</p>	<p>看護師長32人</p>	<p>ストレスやメンタルヘルスキュアに対する基本的な知識を学ぶ 管理者としての自身やスタッフのストレス予防および軽減に役立つ対処法を学ぶ</p>	<p>1) ストレスやメンタルケアに関する基本的な知識 2) 自身のメンタルケアの予防および軽減に役立つ対処法 3) メンタルケアトレーニング</p>	<p>講義 GW</p>	<p>11/20日(金) 13:30～16:45</p>	<p>熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生</p>	<p>東病棟12階 多目的ホール</p>	<p></p>	
<p>基本的日常生活援助技術指導者研修</p>	<p>平成28年度実地指導者(ブリエプター)で研修未受講者および新副看護師長</p>	<p>基本的日常生活援助技術を根拠に基づいて指導する方法が習得できる</p>	<p>日常生活援助技術の評価シナリオに基づいて演習(臥床患者の排泄・清潔・更衣・体位変換技術)</p>	<p>演習 体学習</p>	<p>H28/3/10・11(木・金) 8:00～11:45 13:00～16:45</p>	<p>副看護師長 教育委員</p>	<p>中央診療棟7階 臨床研修センター</p>	<p>平成28年度実地指導者55人 新副看護師長10人 副看護師長24人</p>	<p>15:00</p>



導者研修	安全な注射・与薬プロセス指導者研修	平成28年度 実地指導者 (プリセプ ター)で研修 未受講者お よび新副看 護師長	安全な注射与薬方法お よび輸液関連ポンプ使 用の指導方法を習得 し、根拠に基づいた指 導ができる。	注射与薬プロセスと 輸液ポンプ・シリンジ ポンプ使用方法マ ニュアルに基づいた 指導と評価の演習	講義 演習	H28/3/10・11 (木・金) 8:00~16:46	安全対策委員会	部署	平成28 年度実 地指導 者51次 副看護 師長23 人	15:30
	看護診断 (部署毎)	全看護職員 部署ごとに希 望者	NANDA-I看護診断・ NOC・NICリンクを 理解し、部署で実践に 活用できる	・看護診断を用いた 事例検討	GW	2部署ずつ 全部署実施 5/25(月) 6/29(月) 7/27(月) 8/31(月) 9/28(月) 10/26(月) 11/16(月) 12/14(月) H28/1/25(月) 2/22(月) 3/14(月) 17:00~18:30	看護診断WG	東病棟12 階 看護部 カンファ レンス室 中央診療 棟7階 第一会議 室	255人	16:30
全看護職員対象	看護必要度 研修	全看護職員	重症度、医療・看護必 要度とは何かを正しく理 解し、適切な評価ができ る	重症度、医療・看護 必要度とは何か 事例を通して適正評 価を考える。	講義	7/1(水) 7/3(金) 7/7(火) 7/10(金) 17:30~18:30	看護部業務委員 会 業務担当副看護 師長会議 重症 度、医療・看護 必要度グループ	総合研究 棟3階講 習室	659人	4:00
	講演会・発表会・報告会	講演会 I 看護部長講 話	看護部職員	看護部の理念、目標を 共通理解し、目標に向 かって行動できる	講演	4/7(火) 17:30~18:40	本尚美看護部長	総合研究 棟3階講 習室・図書棟 3階	365人	1:10
	オレム看護 理論	全看護職員 オレム担当部 署の看護師 長は必須参 加	オレム看護理論を学び 理解を深め、看護実践 に活用できる	概要 ・セルフケア理論 ・セルフケア不足の 理論 ・看護システム理論 2)セルフケアの意図 的過程 3)セルフケア能力の 査定と看護支援	講義	5/21(木) 17:30~19:00	熊本大学大学院 生命科学研究部 精神看護学教授 宇佐美しおり先 生	医学部図 書棟3階 第一講義 室、医学 総合研 究棟3階 講習室	165人	1:30
	家族看護	看護部職員	家族看護理論を理解し 患者・家族への看護実 践に活かすことが出来る	1家族看護の基本的 な考え方 2家族システム理論 に基づく家族の理解 3家族ストレス対処理 論に基づく家族の理 解 4家族看護の展開方 法 ・家族看護エンバ ワースメントモデル	講演	11/25(水) 17:30~19:00	高知県立大学 基礎看護学准教 授 瓜生 浩子 先生	医学総合 研究棟3 階講習室	66人	1:30
	地域連携講 演会	看護部職員	医療機関と地域との連 携について理解する	1)訪問看護師の役 割 2)医療機関と地 域との連携について	講演	11/30(月) 17:30~19:00	特定医療法人萬 生会 萬生会訪 問看護ステー ション管理者 北住紀美子先生	医学総合 研究棟3 階講習室	93人 平成27 年度退 院支援 研修 30人は 必須	1:30

第2回 看護研究研 修報告会	看護部職員	・発表活動を通し、研究能力を高め、相互啓発を図る	・看護研究発表 1) デバイス植込み術後の新たな創部圧迫の有用性に関する検討 2) ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術における皮膚障害発生に関与する要因の検討 3) 足浴が分娩第1期の微弱陣痛に及ぼす影響 4) 退院支援が難しかった患者の後方支援  講評(講義も含む)	発表会	H28/3/12(土) 9:30~12:30	熊本大学大学院 生命科学研究部 教授 宇佐美しおり先生	医学総合 研究棟3 階講習室	発表者 4人 研修生 87人	3:00
第14回 業務改善報 告会	看護部職員	他部署の発表を参考として業務改善や看護実践に活かす 「内服薬のペーパーレスに向けた取り組み」 「注射作成台およびベッド周囲清掃啓蒙活動を通しての改善点と今後の課題」 「硝子体内注射を受ける患者の洗眼時の苦痛緩和に向けた取り組み」 「前方支援導入後6ヶ月評価ー看護師の意識調査を実施してー」	業務改善実践報告	発表会	H27/11/13 (金) 17:30~18:30	業務委員会	総合研究 棟3階講 習室	110人	1:00
活動報告会	看護部職員	他部署及び各委員会での取り組みを参考に自部署に応用できる	・各部署および委員会の活動報告	報告会	H28/2/25(木) 17:30~18:40	教育委員会	東病棟12 階 多目的 ホール	135人	1:10
研修報告会	看護部職員	看護部職員公費研修に参加して得た知識・技術を伝達講習により他の看護職員へ還元し、看護の質の向上を図る	1) 看護に求められている新たながん患者の社会的問題への対応 2) 高齢者の生活をつなぐ退院支援 3) 身体疾患に併発しやすいうつを見落とさないためのメンタルケア 4) 急性期病院で治療を受ける認知症高齢者の看護 5) 福井PNS報告会	報告会	H28/3/17(木) 17:30~18:30	平成27年度公費 研修受講者	東病棟12 階 多目的 ホール	91人	1:00

平成 27 年 度 院 内 教 育

研修名	対象	目標	内容	方法	日時	講師	場所	研修生 人数	時間 数	
自主研修	精神看護	全看護職員	1年間で各部署1例以上事例提供ができ、問題解決できる	部署からの事例	GW	1回目:7月2日(木) 2回目:9月24日(木) 3回目:10月29日(木) 4回目:11月5日(木) 5回目:12月2日(水) 6回目:H28年1月6日(水) 7回目:H28年2月3日(水) 18:00~19:00	熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生	看護部カンファレンスルーム 第一会議室	1回目28人 2回目19人 3回目29人 4回目28人 5回目25人 6回目27人 7回目30人 延べ186人	7:00
	看護倫理	看護師長・副看護師長	看護における倫理的視点の力量を高め、スタッフおよび患者の相談に対応できる	事例検討	GW	1回目:7月16日(木) 2回目:9月17日(木) 3回目:10月15日(木) 4回目:11月19日(木) 5回目:12月17日(木) 6回目:H28年1月21日(木) 7回目:H28年2月18日(木) 18:00~19:00	熊本大学大学院生命科学研究部教授 宇佐美しおり先生	看護部カンファレンスルーム 第一会議室	1回目28人 2回目28人 3回目27人 4回目31人 5回目26人 6回目27人 7回目30人 延べ197人	7:00
自主研修	認定看護師主催 不妊症看護～ART(高度生殖補助医療)を受ける患者への援助～	不妊治療に携わる看護職員 看護師	ARTを受ける患者の背景、心理を理解し、治療内容全般において情報提供を行うことができる	1) 講義 (1)ARTについて ①体外受精、顕微受精-胚移植 治療内容 ・卵巣刺激方法、採卵、胚移植、胚凍結について ・当院におけるプロトコール ②ARTの成績、期待される結果、副作用、料金公的援助について (2)不妊症看護・症例紹介 (3)生殖医療技術と倫理的問題 2) 演習 実際、体外受精を説明する場面を想定しロールプレイを行う 3) 採卵室・培養室見学(受精卵の観察、卵の管理方法について学ぶ)	講義、演習、採卵室見学	H27/7/14(火) 7/21日(火) 17:30~19:00	不妊症看護認定看護師 本田万里子	中央診療棟7階カンファレンスルーム	第1回16人 第2回14人	3:00

がん看護 I	ラダーI 相当の看護 師	①がん看護領域の 基本的知識と技術 を深める。 ②がん看護におけ る今後の課題を見 だし、実践に生 かすことができる。	緩和ケア概論 がん性疼痛看護 がん化学療法看護 がん放射線療法看 護	講義、 GW	H27/9/5(土) 9:00~16:30	緩和ケア認定 看護師 宮本真紀 がん化学療法 看護認定看護 師 森 奈緒美 がん性疼痛看 護認定看護師 前田望花 がん放射線療 法看護認定看 護師 太田由利香	東病棟 12階多 目的 ホール	院内:19 人 院外:9 人	6:30
がん看護 III	クリニカ ルラダー レベルII 以上の看護 師	がん看護領域の基 本的知識と技術を 深め実践力を向上 することができる	・家族看護(講義) ・意思決定支援(講 義) ・事例検討(演習)	講義、 GW	H27/11/7(土) 9:00~13:15	緩和ケア認定 看護師 高野いづみ 緩和ケア認定 看護師 宮本真紀 がん化学療法 看護認定看護 師 岡本泰子	東病棟 12階多 目的 ホール	院内:11 人 院外:1 人	4:15
ストーマ ケア	ストーマ ケアに関 わることが ある部 署の看護 師	ストーマケア技術 を習得し、ストーマ 造設した患者の退 院支援ができる	・ストーマリハビリテ ーション ・術後合併症とその 対処方法 ・装具装着体験とセ ルフケア指導の演習 ・事例検討	講義 演習	H28 /1/15(金) 1/29(金) 2/12(金) 2/26(金) 17:30~19:30	皮膚排泄ケア 認定看護師 増田未散 三隅彰子	西病棟 3階カン パレン スルー ム	14人	6:00
急性期 から始まる 廃用症候 群の予防 -安全な 離床に向 けた全身 管理とケ ア-	レベルI またはII	・安静臥床や寝たき りに伴う廃用症候群 について知識を深 める ・急性期から始める 廃用症候群予防の ためのケアを理解 し、実践に活用でき る	・廃用症候群につい て ・安全な離床に向 けた、呼吸/循環/ 認知/筋骨格系/ 排泄/皮膚の管 理 ・安静臥床に伴う悪 循環 ・急性期からの廃用 症候群予防ケアに ついて ・事例検討 ・実技演習	講義 演習	H28/3/15(火) 17:00~19:00	集中ケア認定 看護師 田中貴子 脳卒中リハビ リテーション看 護認定看護師 上田郁美	中央診 療棟7 階カン パレン スルー ム	19人	2:00
根拠に基 づいた新 生児集中 ケア	急性期に ある新生 児の看護 に興味の ある看護 職者	①新生児感染症の 病態と治療の知識 を深め、フィジカル アセスメント能力の 向上を図ることができる ②新生児の発達を 理解し、家族ととも にこどもを支援する 方法を習得する	1)1日目 ①新生児感染症の 病態と症状アッセ メント、抗生剤や循環 管理の治療につい て ②事例を用いたフィ ジカルアセスメント 演習 2)2日目 ①新生児の発達・し ぐさとポジショング の方法 ②ファミリーセンタ ーケアの概念と家族	講義 演習	H28/2/29(月) 17:00~18:30 H28/3/7(月) 17:00~18:30	新生児集中ケ ア認定看護師 斉藤祐子	東病棟 12階患 者多目 的室	2回参加 者11 人、1回 のみ参 加者3人	3:00

	糖尿病看護	ラダーⅡ-1以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病患者のセルフケア行動に影響する心理・社会的要因について学ぶ</li> <li>・糖尿病患者の行動変化を促進するための援助やコミュニケーションについて理解出来る</li> </ul>	<p>1)12月1日 患者さんがセルフケアできない背景を考える</p> <p>2)12月8日 血糖値の変動には何が関係しているのだろう？</p> <p>血糖値の動きを患者さんの支援に活用する方法は？</p> <p>3)12月15日 患者さんのやる気を引き出すコミュニケーション</p>	講義 GW	H28/12/1(火) 12/8(火) 12/15(火) 17:30~18:30	糖尿病看護認定看護師 藤本美枝	東病棟 12階多目的ホール	10人	3:00
I V 研 修	IVナース研修 (静脈注射に必要な知識と筆記試験)	クリニカルラダーレベルⅡ-1以上もしくはレベルⅠ以上の看護師およびパート職員	<p>静脈注射に必要な知識を習得し、実践に活用する</p> <p>本院の静脈注射実施基準と法的責任を理解し倫理的側面を考慮した行動ができる</p> <p>静脈注射に必要な解剖・生理を理解できる</p> <p>静脈注射に必要な薬理を理解できる</p> <p>静脈注射に必要な感染管理の知識を習得し、実践に活用できる</p> <p>静脈注射に必要な安全に関する知識を習得し実践に活用できる</p> <p>緊急時に適切な対</p>	<p>本院における看護師・助産師の静脈注射実施基準</p> <p>静脈注射に必要な解剖・生理</p> <p>静脈注射に必要な薬理</p> <p>静脈注射に必要なリスクマネジメント:感染管理</p> <p>静脈注射に必要なリスクマネジメント:安全</p> <p>静脈注射に必要な緊急時の看護</p> <p>安全な静脈留置針挿入</p> <p>筆記試験(30分)</p>	DVD視聴、筆記試験	<p>7月31日(金) 8:15~14:05</p> <p>9月11日(金) 13:00~18:00</p> <p>10月29日(木) 13:00~18:00</p> <p>平成28年1月14日(木) 13:00~18:00</p>	業務委員会	図書棟3階第一講義室 東病棟12階多目的ホール	<p>7/31:38人</p> <p>9/11:24人</p> <p>10/29:7人</p> <p>1/14:13人</p> <p>合計82人</p>	20:00
	新IV指導ナース研修	クリニカルラダーレベルⅡ以上の看護師	<p>静脈注射に必要な知識技術を備え、看護師に静脈注射の指導ができる</p>	<p>筆記試験</p> <p>技術評価・口頭試験(筆記試験合格者のみ)</p>	講義 筆記試験60分 技術評価45分	H27/11/13(金) 9:45~11:00と 13:00~13:45	業務委員会	東病棟 12階多目的ホール	30人	1:15 (25人) 2:30(5人)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【中央検査部】					
研修名	期間	実施回数	参加人員	備考	
ISO15189に関する研修会	平成27年4月15日(水)	1回	57		
個人情報保護に関する研修	平成27年5月21日(木)	1回	57		
輸血検査及び製剤管理の研修(時間外検査対応)	平成27年7月16日(木) 平成27年8月20日(木)	2回	57	7月実技、8月解析	
緊急検査に関する研修(生化学・免疫・凝固検査)	平成28年1月21日(木) 平成28年2月25日(木)	2回	57	1月実技、2月解析	
緊急検査に関する研修(血液検査)	平成27年9月24日(木)	1回	57		
倫理・個人情報保護研修(CPC)	平成27年10月19日(月)	1回	57		

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【ME機器センター】

研 修 名	期 間	実施回数	参加人員	備 考
一目でわかるグラフィック（講義）	平成27年10月30日（金）	1回	26名	看護師9名 理学療法士2名 作業療法士1名 を含む
一目でわかるグラフィック（実技）	平成27年11月2日（月）	1回	19名	看護師4名 理学療法士1名 作業療法士1名 を含む

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

【中央放射線部】				
研 修 名	期 間	実施回数	参加人員	備 考
救急医療に関する研修(講義)	平成27年4月10日(金)	4回	95	
	平成27年6月26日(金)			
	平成27年12月4日(金)			
	平成28年3月15日(火)			
救急医療に関する研修(実技)	平成27年9月17日(木)	2回	83	
	平成28年1月21日(木)			